

別添資料 1

「足立区公共施設等総合管理計画【令和6年度改訂】（素案）」に関するパブリックコメントの実施結果および意見の概要と区の考え方について

1 実施期間

令和6年11月12日（火） から 令和6年12月12日（木）

2 意見提出数および提出方法

（1）意見提出数

467件（235名）

（2）提出方法

ア 区ホームページの

意見受付フォーム 64件（20名）※うち 2名 全文公表希望なし

イ Eメール 6件（2名）

ウ FAX 144件（64名）※うち 9名 全文公表希望なし

エ 郵送 14件（5名）※うち 1名 全文公表希望なし

オ 窓口への持参 223件（135名）※うち 46名 全文公表希望なし

カ 説明会 16件（9名）※うち 2名 全文公表希望なし

3 意見の構成

内 容		件 数
第1章	総合管理計画の位置付けと改訂の背景	0件
第2章	足立区を取り巻く現状と今後の見通し	3件
第3章	公共施設等にかかる経費の中長期的な見込み	8件
第4章	これまでの振り返りと課題解決の方向性	0件
第5章	総合管理計画の計画期間と取り組みの方向性	87件
第6章	総合管理計画の柱となる方針	15件
第7章	具体的な取り組み内容	3件
第8章	公共施設等の管理に関する基本的な考え方	9件
第9章	施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	239件
第10章	計画推進の基本的な考え方	0件
第11章	計画の進行管理を推進する体制の強化と仕組みづくり	36件
第12章	進行管理のための指標の設定	0件
計画全体に関すること		5件
その他		62件
合 計		467件

4 意見の概要と区の考え方

別紙1 のとおり

5 区民等の意見（全文）①（意見の提出要件を満たし、意見を受理した方）

別紙2 のとおり

6 区民等の意見（全文）②（意見の提出要件を満たさず、意見を受理できなかった方）

別紙3 のとおり

別紙 1

足立区公共施設等総合管理計画【令和6年度改訂】素案に対する意見の概要と区の考え方

いただいた意見を分類・要点整理しています。意見の全文は別紙2「全文一覧」に掲載しています。

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
第2章 足立区を取り巻く現状と今後の見通し			
1	維持管理費の経費別グラフの指定管理料と維持管理委託料を合わせると45.4%、何か削減する方法はないか。	指定管理料と維持管理委託料が維持管理費の大半を占めていることは課題として認識しています。 ご意見を受け、今後、コスト削減手法を研究していく旨、計画に追記します。	2
2	人口推移はグラフなどで示しても、「減収」の見通しについては数字を含めた見通しが書かれていない。	26頁の図1-19「公共施設等の更新等費用」と「公共施設・インフラ充当可能額」（試算）の折れ線グラフ「公共施設・インフラ充当可能額」（試算）に、将来の生産年齢人口の減少による区民税の減収の見通しも含めて試算しています。	15
3	本庁舎の年間維持管理費9.1億円、これこそ削減できないか。	本庁舎に多額の維持管理費がかかっていることは課題として認識しています。 ご意見を受け、今後、コスト削減手法を研究していく旨、計画に追記します。	16

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
第3章 公共施設等にかかる経費の中長期的な見込み			
4	人口構成から、維持費充当予算を算出すべき。	改修・更新に充てられる財源は、将来の人口減少・人口構成の変化を踏まえて試算しています。 しかし、様々な変動要素があるため、4年ごとに行う評価・分析で、必要に応じて試算条件の見直しを行います。	1
5	日本の自治体でもトップクラス、1848億円とも言われている「積立金」について何も書いていない。 積立金のことを示さないのは、区財政の真の姿を区民に示していない。	「積立金」については、計画素案の27頁に「基金」として考え方を記載しています。 また、26頁の図1-19「公共施設等の更新等費用」と「公共施設・インフラ充当可能額」（試算）は、折れ線グラフの「公共施設・インフラ充当可能額」（試算）の算定にあたって基金を充当する前提で試算しています。 ご意見を受け、基金現在高（試算）として、グラフを計画に追加します。	15
6	財源があるのに実際より意図的に小さく見せているのは良くない。	今ある財源を踏まえて、将来の生産年齢人口の減少による区民税収入の減収を見通して算定しており、意図的に小さく見せているわけではありません。 ご意見を受け、基金現在高のスタートラインを、令和7年度当初予算時点の数値に変更します。	23
7	概要の部分は、□で囲んであります。勝手に削らないでください。 □で括った部分が私のコメントです。公表してください。		69

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
	公共施設等総合計画 国の総務省が発信元。その前提は次のようにまとめられている 前提 a) 公共施設の老朽化が進行している。 P. 8 耐用年数の現在と今後は事実を記述しているからこの事実は理解できる b) 全国的に厳しい財政状況がある ★『説明会資料』の論理展開の骨組みを模式的に表すと <pre> graph LR A[①少子高齢化人口減少が予] --> B[②40年後に11%約7.7万人減る。P12] B --> C[③従って人口比例で施設を減らす。P12] C --> D[④剰余金(基金)を毎年200億円積み増す] </pre> 骨組みが非常に短絡的で。①から④を導き出すのは非常に乱暴である 『管理計画資料』の主要部は次のように読み取れる 第1～第8章 sashikaesougoukanrikeikaku. pdf 第9～第12章 sougoukanrikeikaku2. pdf 公共施設等にかかる経費の中長期的な見込み p. 21 図1-16 40年間で1兆1006億円。平均で275億円/年となっている p. 23 図1-17 2040年まで50～300億円(平均170億円)内、学校比率約50% 2040～2050年50～200億円(平均125億円)内、学校比率30% 2050～2064年150～300億円(平均225億円)内、学校比率70% つまり、学校の更新費用が約半分である。 ★ 次の質問に回答してください		

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
	質問１：更新費用とは何のことか？建設費か、それとも原価償却費の年額か、どちらか分からない。	「更新等費用」は、建て替えや改修などの工事費や施設の設置に必要な用地費等を、一定の前提条件に基づき試算したもので、減価償却費の年額を示すものではありません。	
8	質問２：図１－１７によると２０３１年以降１０～１５年の更新費用は約２００億円減少する。この分は剰余金となり足立区はますます剰余金が増えると予想されるが、この予想は正しいか？	ご質問いただきましたように、試算では２０３２（令和１４）から２０５０（令和３２）年度までの間、「改修・更新にかかる経費」が「充てられる財源」を下回ることが見込まれるため、剰余金が増えると予想されます。 一方、２０５１（令和３３）年度以降、「改修・更新にかかる経費」が「充てられる財源」を上回る見込みですが、２０６５（令和４７）年度以降、多くの公共施設が更新時期を迎え、多額の費用が必要になることが見込まれることから、これに充当するため計画的に基金に積み立てるなど、財源を確保しておく必要があると考えています。	69
9	質問３：学校更新は全て足立区の負担か？国の補助はあるのか？学校、保育園は文部省か、厚労省か？	学校の更新（建替え）は、一部国（文部科学省）の補助金がありますが、９割以上が区の負担となっており、区の一般財源と義務教育施設建設資金積立基金を充当しています。 また、学校の大規模改修も、一部国（文部科学省）の補助金がありますが、９割以上が区の負担となっており、区の一般財源と義務教育施設建設資金積立基金を充当しています。 なお、国の管轄省庁につきましては、学校は文部科学省、保育園はこども家庭庁となります。	69

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
10	質問４：２０５１年以降更新費用が急増する。そのとき区の公債を発行するのか？	現在、公債（特別区債）は、区の方針として発行していません。 一方、特に２０５１（令和３３）年度以降、「改修・更新に充てられる財源」に不足が見込まれるため、将来的には、後年度の負担や世代間負担の公平などを考慮したうえで、公債（特別区債）発行の必要性について検討する必要があると考えています。	69
11	質問５：この計画は総務省が作成を全自治体に求めているのか。それとも足立区が先頭を切っているのか？ 論理展開に対する反論と意見 ① 前提ｂ）は足立区には当てはまらない。足立区には全国第４位の大きな剰余金がある。つまり、そもそも前提が成り立っていない。 ② 学校は未来を担う子どもたちを育てる最も基礎となる施設である。フィンランドはかつて財政危機に陥ったが、教育への投資を増強させたことで、国力が大きく発展した。その中心政策は少人数学級の導入と、一人一人の個性、ひいては能力を高める教育原理である。日本も、教育を重要政策にするべきである。明治政府の小学校義務教育は日本の発展に寄与した。中心的課題は施設（ハード）ではなく、その目的を果たすための制度である。 ③ 社会は大きく変化して行く。政権が変わることもある。設備計画は将来世代が考える課題であり、この計画書のように５０年先を予想だけで立てるのは無謀であ	公共施設等総合管理計画は、平成２６年４月に総務省が全自治体に対して策定するよう要請し、各自自治体が策定しているものです。 足立区では、総務省の要請を受け、平成２９年４月に「足立区公共施設等総合管理計画」を策定しました。 今回、計画の策定から８年が経過し、老朽化の進行や建設コストの上昇など公共施設等を取り巻く環境が大きく変化していることから、内容を全面的に見直し、改訂することとしました。	69

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
	る（但し、耐用年数、つまり設備・施設の劣化は考えるのは当然）そして、その予想で現在の施策をしばるのは妥当でない。 私見：前提b）をもたらしたのは、歴代の日本政府である 厳しい経済状況を作ったのは、大企業が剰余金はふくれ上がらせるだけで経済成長のための投資を行っていないからである また、働く人を非正規に変え、低賃金にして結婚・子育てを困難にした。このため消費が増えず、少子化が進行した。その上に、消費税率が上がり続け、上げるごとに消費が落ち込んだ。経済がどんどん悪化した。そして、日本だけが取り残されたのが現状である。一方、フランスでは人口が増えている（下図）。日本に比べ、子育てにやさしい社会制度があるようである。従って、人口が増えれば、上記の論理展開が全て崩れる。上記と逆の政策を実行すれば良い。（蛇足ながら、生産年齢は65歳下という定義は現実合っていない（P. 7）高齢者と高齢生産年齢者は違う概念 生産に従事する高齢就業者（65歳以上）は着実に増えている。混同するような図表示はすべきでない） ★ 結論として 1）学校を減らさず、一人一人の能力を上げるための少人数学級を実現して欲しい。（少子化はチャンス） （日本では不登校が増え国は教育義務を果たしていない。受験競争のための学力テスト偏重をやめるべき 2）この管理計画は、前提自体が誤っている（上記①足立区には膨大な剰余金がある）。その上、少子高齢化の原因とその克服に触れずに、50年の計を立てるという		

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号																		
	無謀な計画である。従って、この計画書の提示の目的は、遠い将来の資金を貯めこむ必要性を（しかも毎年200億円）区民に提示することにより、現在の膨大な剰余金に手を触れず、更に貯めこむことを、区民に受け入れさせるために作成されたように感じる。 3）現在の貯めこみ金は、区民一人一人の生活向上のために使ってください。 4）現存する施設の長寿命化のための設備管理計画をていねいに区民に説明してください。																				
	参考資料 <table><thead><tr><th></th><th>フランス</th><th>日本</th></tr></thead><tbody><tr><td>人口</td><td>約6513万人</td><td>約1億2686万人</td></tr><tr><td>高齢化率</td><td>20.75 (2020年)</td><td>28.40 (2020年)</td></tr><tr><td>合計特殊出生率</td><td>1.87 (2019年)</td><td>1.36 (2019年)</td></tr><tr><td>GDP</td><td>約2兆9382億7100万ドル (2021年)</td><td>約5兆3781億3600万ドル (2021年)</td></tr><tr><td>一人あたりGDP</td><td>約4.51万ドル</td><td>約4.24万ドル</td></tr></tbody></table> 図1-17 公共施設の更新等費用試算 R6.10.23 現在の暫定数値 上の棒：学校以外の更新等費用 下の棒：学校の更新等費用 ●学校の更新等費用（試算） ●学校以外の更新等費用（試算）		フランス	日本	人口	約6513万人	約1億2686万人	高齢化率	20.75 (2020年)	28.40 (2020年)	合計特殊出生率	1.87 (2019年)	1.36 (2019年)	GDP	約2兆9382億7100万ドル (2021年)	約5兆3781億3600万ドル (2021年)	一人あたりGDP	約4.51万ドル	約4.24万ドル		
	フランス	日本																			
人口	約6513万人	約1億2686万人																			
高齢化率	20.75 (2020年)	28.40 (2020年)																			
合計特殊出生率	1.87 (2019年)	1.36 (2019年)																			
GDP	約2兆9382億7100万ドル (2021年)	約5兆3781億3600万ドル (2021年)																			
一人あたりGDP	約4.51万ドル	約4.24万ドル																			

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
第5章 総合管理計画の計画期間と取り組みの方向性			
12	K P I は人口減の 1 1 % ではない。 業務（ソフト面）の検討から複合化も含め、再配置、減少を検討し、K P I としては 2 0 % 等で設定しないと 1 1 % さえ達成できない。	1 1 % は、K P I（重要業績評価指標）ではなく、区の「あるべき姿」として設定しました。 設定にあたっては、将来の人口減少率を踏まえ、「令和 4 6 年度の施設保有面積を 1 1 %、1 3. 5 万㎡の削減を目指す」としました。 しかし、様々な変動要素があるため、4 年ごとに実施する評価・分析で、必要に応じて内容や数値の見直しを行います。	1
13	4 0 年後に人口が 1 1 % 減少するから面積も 1 1 % 減少させると安易に考えるのではなく、どの施設を減らせばコスト削減できるか、どの施設は減らしてもコスト削減できないかを考えてほしい。	将来の人口減少だけでなく、人口構造の変化を踏まえると、年少者人口は減少し、高齢者人口は増加することが予想されます。 ご意見を受け、施設保有面積削減の具体的検討にあたり、より大きな経費削減効果が得られる方法を検討する旨、計画に追記します。	16
14	4 0 年後の人口減少に対応するのではなく、現在住んでいる住民の福祉向上を目指すべき。	今後、少子高齢化がさらに進行した場合でも現在のサービス水準を維持することを前提に、令和 1 8 年度までは「施設保有面積の現状維持（増加させない）」を目標に設定しました。 また、「施設保有面積削減」は、長期的な方向性として設定したもので、実際に人口が減少してから検討を始めて手遅れとなることがないように、今のうちから少しずつでもできることをやっていく必要があると考えています。	22
15	将来のことより、今のことを考えてほしい。		130
16	人口は 1 0 年間増えるのに、4 0 年後に人口減となるからといって「人口減少」を強調してこんな計画をたてるよりも、少子高齢化社会にむきあい、区民サービスを考える足立区であるべきだと思う。		27

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		なお、「施設保有面積削減」の具体的な検討は、区民の皆様と意見交換を重ね、しっかりと時間をかけて検討していく必要があると考えています。	
17 く 96	「新しい公共施設は建設しない」を撤回してほしい。 区民のための施設を建設・充実してほしい。施設を増や してほしい。施設を縮小・廃止しないでほしい。 (同種の意見：80件)	今後、長期的には人口減少が見込まれる中で、良好な施設環境を維持していくためには、施設保有面積を今以上に増やさないようにする必要があると考えています。 そのため、公共施設への新たな需要には、空きスペースの転用などにより対応することで、公共施設の充実と施設保有面積の抑制を両立させていきたいと考えています。 計画の内容は、今後の人口の状況や社会情勢の変化に応じて見直していく必要があると考えており、施設保有面積の考え方についても、適宜見直しを行っていきます。	12 13 15 20 24 25 26 31 32 34 36 37 40 42 46 52 65 67 68 72 73 74 75 76 79 85 88 89 97 99 100

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
17	(再掲)		101
	「新しい公共施設は建設しない」を撤回してほしい。		102
96	区民のための施設を建設・充実してほしい。施設を増や してほしい。施設を縮小・廃止しないでほしい。 (同種の意見：80件)		107
			112
			113
			116
			121
			123
			125
			131
			133
			135
			147
			153
			154
			157
			159
			160
			164
			165
			168
			170
			173
			174
			180
			182
			184
			185
			186
			190
			193
			198
			200
			201
			202
			203
			207

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
17 く 96	(再掲) 「新しい公共施設は建設しない」を撤回してほしい。 区民のための施設を建設・充実してほしい。施設を増や してほしい。施設を縮小・廃止しないでほしい。 (同種の意見：80件)		208 214 215 216 219 220 221 223 225 227 228 233
97 く 98	施設を減らさないでほしい。また、施設を減らす場合 は、区民の意見を十分に聞いてほしい。 (同種の意見：2件)	「施設保有面積削減」の具体的な検討は、区民の 皆様と意見交換を重ね、しっかりと時間をかけて検 討していく必要があると考えています。	67 148

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
第6章 総合管理計画の柱となる方針			
99	中・高・大学生のための施設を作ってほしい。	ご意見いただいた施設については、現在、新設・増設する予定はありませんが、今後、公共施設への新たな需要には、空きスペースの転用など今ある施設の有効活用を第一に検討することとしています。	20
100	複合化で空いた場所には、新たに要望がある公共施設を建ててほしい。		115
101	文化施設、高齢者や子育て世代の集まれる場所を増やしてほしい。		177
102	(同種の意見：2件)		179
103	今ある施設は改修、設備の補強、建替などを計画的に進め、統廃合ではなく増設してほしい。	今ある公共施設は、区民の皆様「安全・安心」にご利用いただくため、必要な時期に安全を確保するための改修工事を実施していきます。 また、施設の老朽化に伴う建替は、今後、コスト削減・平準化に取り組みながら計画的に実施していきます。 なお、公共施設への新たな需要には、空きスペースの転用など今ある施設の有効活用を第一に検討することとしています。	83
104	施設の面積を見直す前に、サービスの質をどうするか検討してほしい。	基本的な考え方として、現在の行政サービス水準を維持することを前提に、施設面積を見直す内容としています。 将来の人口減少・少子高齢化を見据え、引き続き現在の行政サービス水準を維持しながら施設面積を見直すことができるよう検討していきます。	7

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
105	受益者負担の見直しは、区民の負担増ではなく負担軽減、無料化してほしい。	施設使用料は、受益者負担の観点から区民の皆様に応分の負担をしていただいているもので、4年に一度、各施設にかかっている維持管理費、改修経費などを踏まえて見直しの検討を行っています。	15
106	区の施設は区民の財産なので、施設使用料を取らずに貸すべき。	現在、物価高騰により維持管理費、改修経費が増加している状況もありますが、様々な状況を踏まえた適正な施設使用料になるよう、引き続き検討していきます。	87
107 111	高齢者を含め、誰もが徒歩や自転車で行くことができる場所に公共施設を配置してほしい。 (同種の意見：5件)	施設配置を検討する際は、施設に行くための移動手段の確保も併せて検討していく必要があると考えています。 そのため、区民の皆様が身近な場所で利用する施設について、それぞれの地域単位で最適な配置となることだけでなく、交通手段を確保するための施策も併せて検討していきます。	15 45 67 82 183
112	小・中学校は、区が保有する施設面積の61%を占めているため、地域住民に広く還元できる施設であることが理想。そのため、学校の複合化には大賛成。 地域によっては、住区センターや区民事務所等の公共施設をすべて学校に一元化することも可能だと思う。 また、交通利便性の高い学校は、効果的な複合化ができればより広い範囲の住民にサービスを還元することも可能と考える。 公共施設を減らすだけでなく、最適化して豊かさを導くような複合化・再配置も検討していただきたい。	公共施設の複合化は、施設の種類や場所に応じた効果的な組合せで行うことにより、コストメリットがあるだけでなく、行政サービスの向上を図ることができると考えています。 一方、学校であれば児童・生徒の安全や防犯面への対応や、施設の場所が遠くなることによる交通手段の確保など、検討すべき事項が多くあります。 今後、公共施設の複合化に取り組む際には、区民の皆様により良い行政サービスを提供できる施設の組合せや配置を検討していきます。	48

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
113	子ども施設と小型老人施設を隣接させてほしい。	今後、公共施設の複合化や適正配置に取り組む際には、区民の皆様により良い行政サービスを提供できる施設の組合せや配置を検討していきます。	214

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号
第7章 具体的な取り組み内容			
114	計画の理解者と賛同者を増やすには、実績に基づく裏付けが必要。 そのために、各施設の区民利用者数・利用時間・年齢層を調べ、年間の稼働率調査が必要。調べて公表してほしい。 そうすれば、利用者数の少ない場所は削減候補になっても仕方ないと判断できる。	今後、各施設の利用状況の「見える化」に取り組む予定です。 その中で、各施設の利用者数・利用時間・年齢層などによる年間の稼働率についても調査し、公表できるよう検討していきます。 また、ご意見を受け、各施設の機能の検証・改善に活用できる情報を、定期的に収集・公表する仕組みを作る旨、計画に追記します。	3
115	子どもの数が減る中、施設を多目的に建て替えると聞きましたが、教育の場に大人が混じあうことの危険性を考慮してほしい。	学校の複合化を検討する際は、児童・生徒の安全や防犯面に十分配慮することを前提として、組み合わせる施設の選定や、建物構造の検討を行う必要があると考えています。 学校に限らず、公共施設の複合化を検討する際は施設を利用される区民の皆様のご意見をお聞きしながら、課題となる事項を解決できる手法を検討していきます。	49
116	効率を考えるあまり子どもたちをバス通学させてまで仮設校舎に運ぶなど、不可解な事がこれ以上起きないように、知恵を出し合う必要がある。	学校の改築にあたっては、自校内建築、仮設校舎建設、廃校の仮設校舎使用等の手法が考えられます。 改築を実施する学校の状況等に応じ、児童の安全やコスト面を考慮した上で適切な方法を選択し、実施していきます。 旧校舎と仮設校舎の距離が離れていて、徒歩での通学が困難な場合は、児童のバス送迎も選択肢に入りますが、その場合は、最大限安全に配慮し実施いたします。	214

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
第8章 公共施設等の管理に関する基本的な考え方			
117	区民のウェルビーイング（幸福度）向上の視点にたって、民間事業者の力を区民サービスの充実や向上に生かしてほしい。	区民の皆様のウェルビーイング向上の視点を踏まえ、計画が目指す将来像である「いつまでも『安全・安心』の公共施設と行政サービスを提供し続ける」ため、今後、民間事業者の力を行政サービスの充実に生かすよう検討していきます。 また、ご意見を受け、第5章の「取り組みの方向性」の中に「ウェルビーイング向上の視点」として、計画に追記します。	20
118	区の施設や施設の面積は減らさず、今より利便性の高い場所に公共施設を配置するよう、土地を有効活用してほしい。	今後の生産年齢人口の減少による税収減を考慮すると、施設を増やすことは将来の大きなコスト増要因となるため、施設保有面積を今以上に増やすことはできないと考えています。 土地や建物などの財産は、区民の皆様のご意見をお伺いしながら活用方法を検討し、民間活用を図る場合は、基本的には民間事業者に貸し付けることとしています。	111
119	古い公共施設を建て替えてほしい。	区では公共施設の安全・安心を確保しながら、施設の維持に必要な費用を削減・平準化するために、建物の長寿命化に取り組んでいます。 一方、長寿命化に必要な改修工事が実施できない建物については、長寿命化しない施設として早めに建替えをすることとしています。 なお、建替え時期については建物の劣化状況を定期点検等により確認しながら、必要に応じて変更していきます。	128

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
120	老朽化した施設を解体した後は、新しい施設を建設してほしい。	今後、少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少が見込まれる中、安全で安心な公共施設を維持するためには、施設保有面積を今以上に増やさないようにする必要がありますと考えています。 老朽化に伴う施設の建替えは、コストの削減・平準化に取り組みながら計画的に実施していきます。	176
121	旧江北小学校跡地に、文化ホールなど若者から高齢者まで、幅広い世代が利用できる施設を作してほしい。	旧江北小学校跡地は、平成30年に策定した江北エリアデザイン計画で、防災機能を持った公園への整備を位置付けており、日ごろから防災設備に触れる機会を設け、住民の災害対応力の向上を図れるような広場の整備を検討しています。	187
122	避難所となる場所（学校等）の充実（エアコン設置、簡易ベッド、食料品等の常設・見直し・チェック、トイレ、水道等）。	避難所については、避難生活を少しでも快適に送ることができるよう、以下のとおり、区としても対策の強化に努めています。 【個々の取組策】 （エアコン） 各避難所へ配備済みです。 （簡易ベッド） 簡易ベッドは要配慮者が使用することを想定し、福祉避難所へ配備しています。 不足している分につきましては、民間事業者と協定を締結しており、災害時には簡易ベッドの提供を受ける体制を構築しています。また、既存の簡易ベッドとは別に、新たな簡易ベッドの配備に向けて検	213

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		討もしています。 （食糧品の常設や見直し等） 食糧品目を増やすことや、水が不要で美味しく食することができるなどの質の高い食糧を確保することに向けて検討しています。 （チェック体制） 令和7年度からチェック体制を強化するべく民間業者へ棚卸委託を行い、チェック体制の強化に努めていきます。 （トイレ） 災害時は携帯トイレ及びマンホールトイレによりトイレ対策を行っています。 （水道） 水道が使用できなくなった場合は、飲み水としても使用できる応急給水栓で対応することを想定しており、避難所へ配備しています。	
123	避難所として改修する際、医療ケアの必要な方に対応できる設備（酸素ボンベ、透析装置）を設置できないか。	避難所に医療機器を設置し、維持管理していくことは困難なため、酸素ボンベや透析装置等の設置は予定しておりません。 医療ケアが必要な方については、必要な機器を避難時にご持参いただくようお願いしています。	9
124	近年、地震や大雨など災害が多くなっており、防災の面から区の施設は維持し、機能を拡充すべきではないか。 また、災害対応に従事する区職員は臨時の時のみとし、その他災害対応に従事する人材が必要ではないか。	現在も学校や地域学習センター等の公共施設だけでは、避難者をすべて受け入れることができないため、民間事業者等との災害協定を増やすとともに、備蓄等の拡充を図っています。	224

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		また、災害対応に従事する職員も、区職員だけでは不足することが見込まれるため、災害協定締結自治体等の応援職員を円滑に受け入れできるよう、体制づくりに取り組んでいきます。	
125	改築にあたり、ユニバーサルデザインや脱炭素化の推進、計画的な改築など、良い点だと思う。	今後、公共施設の改修・整備にあたっては、計画に示した方針に沿って推進していきます。	225

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
第9章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針			
(1) 住区センターに関するご意見			
126 131	住区センターを増やしてください。または、なくさないでください。 (同種の意見：6件)	住区センターは、貸出施設を十分に備えていることから、施設の利用促進を図っていきますが、増やすことは考えておりません。 また、現在、施設の老朽化により、多くの住区センターが施設更新を控えています。 施設の集約化は、今後の人口減少等を見据え、利用状況やニーズ等の分析を引き続き行いながら、施設更新等の際に慎重に判断していきます。	62 77 108 139 141 222
132	竹ノ塚六月住区センターは1階のみで、古くて、狭いので、楽器演奏もできない。 近場に気軽に利用できる多用途の住区センターを新設してほしい。	現在のところ、竹の塚六月住区センター付近に住区センターを新設する予定はございません。 住区センターは、計画的に大規模改修工事を行っており、その際に老朽化した設備等の工事を行っていきます。	46
133	西新井本町住区センターを江北保健センター跡地に新たに建替えてください。そして西新井本町住区センター跡地は高野公園を広げてください。	西新井本町住区センターは、建て替えではなく、令和9～10年度に大規模改修工事を行う予定です。 なお、江北保健センターがすこやかプラザ あだちに移転した後は、令和10年度末まで区の行政機関の仮移転先として使用し、その後は、土地の所有者である東京都住宅供給公社が有償化を検討していることから、江北保健センターの土地については返却する予定です。	52

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号
134	大師前の新しい西新井住区センターについて新しくできたことはうれしいのですが・大会議室で音量を下げて廊下・階段によく聞こえるので工夫が必要。 大会議室では合唱の練習や合唱の発表会ができるようにピアノを設置する。 小会議室では、小グループのバンド演奏ができるような設備をつくる。 展示ができる使い方もほしい。たくさんのパネルなどギャラリー風に。 各住区センターでは作品の展示もしていますが、駅近でも再度やるとたくさんの方の目に触れるため発表者の励みになるし、見る側もうれしい。心が豊かになる。日数も数日間続けて借りられるように。	西新井センターの会議室は、合唱や演奏ができる構造になっておらず、近隣の方にご迷惑をおかけする可能性があるため、ピアノ・バンド演奏ができる設備の設置は困難だと考えています。また、廊下・階段に聞こえてしまう点については、対応策を検討していきます。 展示ができる使い方について、会議室を使用した展示は可能でございますが、西新井センターは多くの方にご利用いただくため、原則として複数の連続予約は現在受けておりません。数日間続けてのご利用は、使用目的・期間に応じて、住区センターと協議のうえ、個別に対応します。 なお、会議室以外の展示についても、いただいたご意見を踏まえ、住区センターと協議します。	235
(2) 公衆喫煙所に関するご意見			
135 136	様々な施設を縮小する中、公衆喫煙所はなぜ増やすのでしょうか？増やさなくていいと思います。 (同種の意見：2件)	令和2年4月から、東京都受動喫煙防止条例が全面施行となり、行政施設や飲食店等における喫煙行為への制限が強化されることになりました。 こうした中、区では、路上喫煙行為の増加による受動喫煙被害、たばこのポイ捨て等の増加を防止することを目的に、区内主要駅をはじめ、駅利用者が多い周辺において公衆喫煙所を設置しています。 引き続き、この場所に公衆喫煙所が必要という判断に至った場合には、公衆喫煙所の整備を進めていきたいと考えています。また、民間施設の活用も視野に入れた整備と助成も検討しています。	23 233

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
137	積立が区で余っているのに”きつえん所”を作らず、生きがい奨励金を復活してほしい！	「生きがい奨励金」は、識見の監査委員や区民評価委員から見直しの必要性についてご意見をいただいたことから、同じ高齢者施策の中でも、高齢者の命と健康を守るために、より緊急性と優先度の高い事業への組み替えを行いました。 今後も「生きがい奨励金」については復活させる考えはございません。	166
(3) 文化施設に関するご意見			
138	いま足立区には音楽やギャラリーに使える施設が少なすぎるので困っています。葛飾シンフォニーホールの様な施設をつくってほしいです。	足立区では音楽の発表や練習場所としてギャラクシティの西新井文化ホール、シアター1010、竹の塚地域学習センター等が利用できます。 また、展示発表ができる場として、ギャラクシティの多目的室とシアター1010のギャラリーやアトリエなどがあり、私設の美術館などは1日の利用料が3,000円～数万円と比較的安価な施設が存在することから、現在、新たな文化施設の建設は考えておりません。 既存の施設の建て替えや大規模改修工事時の設計時に施設の設置目的や建物の用途、利用状況、利用者要望、近隣環境や建設コストを勘案し、新たに防音仕様を導入するかどうか個別に判断していきます。	19
139	防音設備のある、ピアノなど音楽を楽しみたい人達の施設を何十か所も作ってください。		20
140	文化面の充実を希望します。コンサートのできる会場を多く作る（音響のよい部屋がほしい）。		49
141 ↳ 142	文化施設（区民が楽しめる）を増やして下さい。 (同種の意見：2件)		77 200
143	地域学習センター等、区の設備で防音のきいた部屋が少ない。 この為太鼓を叩ける場がない。多くの太鼓サークルが練習場所に困っている。よって音楽や太鼓など使用できる公的設備の場をもうけてもらいたい。		211

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号
144 ↳ 145	西新井ギャラクシティの施設利用は満室が多くて予約困難。(音楽室など) 楽器持ち込みに車を利用した場合、駐車場も満車、利用料金も高い。 (同種の意見：2件) ・イベントを行うための各施設について、その使用は区の主催が優先で、そのあと団体の取り合い、抽選に外れた場合は、大変です。67万人の人口からすると、ホールなどが少なすぎます。	西新井文化ホールとこども未来創造館の多目的室は、区事業やギャラクシティ事業での使用を含め大変稼働率の高い施設のため、予約に関して大変ご不便をおかけしています。 予約については、区事業等についても利用調整を毎年行い、5割以上の区民利用枠を残したうえで、区民向けの抽選会を実施しており、今後もそのように対応していきます。なお、その他音楽室等の貸室については、優先予約枠があるものの、一般予約開始時には8割程度空いた状態で予約受付を開始しています。 また駐車場については、土・日・祝日の多くの来館者に対して不足していることは認識していますが、敷地に限りがあることから新たに駐車場を設置することは出来ません。駐車料金についても、不正駐車の防止や、駐車場を利用しない区民との公平性の確保及び、受益者負担の原則の観点から駐車場を有料化しており、無料や割引にする考えはございません。 今後、施設の建替えや大規模改修工事時の設計時に施設の設置目的や建物の用途、近隣環境や建設コストを勘案し、ホール機能を有する施設を導入するかどうか個別に判断していきます。	46 235

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
146	文化施設が身近に有って気軽に利用出来ることは、人々が集って、楽しく健康に暮らしていける条件だと思います。	足立区には、文化施設に限らず、人々が集い、気軽にご利用いただける身近な施設として、ギャラクシティの多目的室等の各諸室や地域学習センターのレクリエーションホールなどがあり、多くの方にサークル活動等様々な用途でご利用いただいています。引き続き、多くの方にご利用いただけるよう、施設の周知をしていきます。	77
(4) 地域学習センターに関するご意見			
147 157	施設類型ごとの管理に関する方針への意見です。 地域学習センター、区民が利用したいと願っても、借りることが争奪戦でなかなか利用できません。「集約化」と称して減らすことはしないでください。 (同種の意見：11件)	地域学習センターの貸出施設の予約は、特定の日が抽選となることはありますが、それ以外はどの施設でも適宜予約を受付しています。 施設の集約化につきましては、今後の人口減少等も見据え、利用状況やニーズ等の分析を引き続き行いながら、施設更新等の際に慎重に判断していきます。	17 22 38 63 93 134 142 143 156 162 201
158	地域学習センターを増やして下さい。	地域学習センターは、貸出施設を十分に備えていることから、施設の利用促進を図っていきますが、増やすことは考えておりません。	141

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
159	現在でも、区の公共施設は不足しています。 私は教員を退職し、足立の退職教職員階に入り、年1回の作品展で作品を発表しています。今年で13回目になります。 以前は梅島のLソフィアを会場にしていたが、改装に伴い、借りることができなくなりました。 その後区内で捜しましたが、見つからず、草加の会場で作品展をしています。 区内での施設を希望しています。	作品展として利用できる区内施設につきまして、営利目的等の利用制限はありますが、13か所の地域学習センターやギャラクシティ等で行えます。 なお、Lソフィアの施設につきましては、これまでに改装に伴う貸出停止は行っており、現在もご利用が可能ですので、是非ご活用ください。	61
(5) 図書館に関するご意見			
160 ↳ 170	図書館をもっと増やしてください。 (同種の意見：11件) ・遠いに行けない ・できれば駅の近くに ・自転車で15分位かかり利用したくても利用できない。 ・本も増やしてください。	現在、足立区内には15館の図書館があり、区内の全域的な配置は充足しているため、区として新たな図書館を整備する予定はございませんが、令和6年度中に策定する「足立区図書館サービスデザインアクションプラン」に基づき、既存図書館のサービスの見直しを図っていきます。	31
171	綾瀬に図書館が有ったのがなくなりました。 周りに利用出来る所がありません。 施設の縮小では無く作って下さい。		58 77 105 138 152 171 178 200 212 225
			126

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
172	図書館は読書コーナーが少なく、もう少し図書館をふやして欲しい。また、古い本が多く、時々、新たな本を入れ替えて下さい。		148
173	図書館も古い資料が多いので、新館をつくるべき（知的遅れがはなはだしい）。		199
174	綾瀬に図書館を作ってください。		201
176	（同種の意見：3件）		209 210
177	図書館は減らさないで下さい。	現在、施設の老朽化により、多くの図書館が施設更新を控えています。 施設の集約化につきましては、今後の人口減少等も見据え、利用状況やニーズ等の分析を引き続き行いながら、施設更新等の際に慎重に判断していきます。	47 222
178	（同種の意見：2件）		
179	図書館がへると聞きました。 年金生活者にとって本一冊買うと一日分の食費が消えます。生活圏にある図書館をなくさないで下さい。		62
180	東和図書館の廃止などもっての他です。		124
181	足立区は基金が予想以上に多いと聞きました。区民のために使うべきです。区民が使いやすい、地域のコミュニティとしての図書館を減らさないでください。		134
182	公共施設が私達の希望です。 図書館は子供の時のいい場所でした。絶対なくしてはいけないと思います。絶対反対です。		144

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
183	図書館は減らさないで！学生の勉強の場にもなっています。幼児スペースを広げるなど改善こそ必要と思います。		205
184	図書館は、本の利用だけでなく、受験生の利用も多いです。 中学生や高校生など、学びの場となっていますので、減らさないでください。		206
185	綾瀬小学校内にとっても立派な図書館があり、司書の方もいて相談にも乗ってもらえます。 しかし、幼児・乳児など子どもがいる方のみの利用で、一般市民は利用できません。 市民が利用できる図書館を、住民が行きやすい（近くの住区センターなどと一緒にでもよいので）所に作ってほしいです。	綾瀬小学校に開室している「わくわく にこにこ 図書の森」は、「こどもが本と出会う場所の整備」という地域のご要望を実現するために、子どもと保護者が本に出会い、触れ合うことをコンセプトにしています。このため、利用対象者を小学生、乳幼児とその保護者としています。 なお、現在、足立区内には15館の図書館があり、区内の全域的な配置は充足しているため、区として新たな図書館を整備する予定はございません。	81
186	北千住東口には常東図書館がありましたが、現在跡地にはクリニックとなっています。 電大で申込制で本は借りられるとありますが、図書館へ行き自分の目で本を選ぶことはできません。 地域学習センターの図書館は高齢では遠すぎます。 東口にある大学の一部を開放して（電大・未来）開設はできないのでしょうか？	【東京電機大学の図書館】 一般開放はしていませんが、研究目的であれば学外の方も有料で利用できます。利用をご希望の際はまずは大学までお問合せ下さい。 お問合せ先：東京電機大学 総合メディアセンター（図書サービス） なお、大学の図書館は公共施設ではありませんの	51

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		で、利用にあたっては各大学の規定に従う必要があります。 【東京未来大学の図書館】 学外の方に図書の貸し出しは行っていませんが、利用登録（有料）すれば図書館に入館することができます。	
187	梅田八丁目の複合施設を当初の計画通り作ってもらいたい。楽しみにしていましたので、がっかりさせないでください。	令和4年3月に「梅田八丁目複合施設基本構想・基本計画」を策定して以降、基本構想・基本計画で定めた「子ども」「居場所」「つながり」の3つの視点を基本コンセプトとして公募型プロポーザル方式により設計委託事業者を選定しました。加えて、全国10か所以上の先進事例を視察し、区民に新しい図書館を提供するために、設計事業者と協議を重ねてきました。	96
188	梅田八丁目に予定している複合施設。自転車がよく通る道ですが小学校の子どもたちのこんなふうにしてほしい絵が掲示されています。どうせ作るのなら、使う人が喜んで活用できる施設にしてください。 楽しい図書館だけでなく（今迄西新井近辺にはなかった）「演奏・合唱ができる防音の施設。展示のできるギャラリー、スポーツ施設、カフェなど」駅近なので、施設の作り方によっては利用が増えると思います。 若者も子連れのママさんたちも中堅もお年寄りも来なくなる施設にしてください。	当初は、音楽活動も可能な防音の施設として多目的室の設置を計画しておりましたが、現在の基本設計案では、これに代わるスペースとして1階のフロアの中央に「交流ひろば」を設置する予定です。 このスペースは、複合施設全体のコンセプトである「屋根のある公園」を象徴する場と位置付け、100名規模のイベントの実施も可能なオープンスペースとすることで多くの区民の交流・発表の場として利用していただくことを検討していきます。 このほか、親子で本に親しめるキッズライブラリーや友達と話しながら過ごせるにぎやかエリア、外の景色を眺めながら飲食ができるカフェなど多様な機能	235

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		を検討し、あらゆる世代が居場所として安心して滞在できる施設を目指していきます。	
189	栗原にできる施設の充実を！（図書館、荒川区のように、ピアノのある、演奏も歌うこともできる集会室等、合わせもつ施設に）	新たに栗原にできる施設は現在ありませんが、ご要望のピアノのある、演奏も歌うこともできる集会室等の整備については、今後、施設改修時の設計時検討していきます。	213
190	図書館のトイレの整備、ウォッシュレットと石けん液、乾燥機の設置を。閲覧の椅子、机の増設。 中央図書館をもっと交通の便の使いやすい場所に移転設置を。荒川区のゆいの森は参考になります	トイレのウォッシュレットは、施設内の「誰でもトイレ」に設置しています。ウォッシュレットをご利用される際は「誰でもトイレ」をご利用ください。せっけん液はすべてのトイレに設置していますが、乾燥機につきましては、音の課題もあり、設置予定はございません。 閲覧席の机とイスにつきましては、限られたスペースの中で書架やシステム機器等とあわせて設置しているため、急な増設が難しい状況です。各館の大規模改修時に、書架等を含めた全体的なレイアウト変更を検討するなかで、机とイスの設置数の見直しを行います。 また、中央図書館につきましては、移転先の用地や建設費用等に課題があるため、移転の予定はございませんが、令和7年度から始まる中央図書館1階のリニューアルの中で、書架等を含めた全体的なレイアウト変更や閲覧席の増設などを検討していきます。	232

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
(6) スポーツ施設に関するご意見			
191 く 208	東綾瀬公園温水プールは廃止しないでください。 (同種の意見：18件)	東綾瀬公園温水プールは、平成4年に利用を開始し、以後適宜修繕を行っています。 今後は令和7年に天井ドーム部分の修繕工事を予定していますが、建物全体の老朽化が進んでいます。 令和10年度までに、「今後の施設の在り方」を検討していきますが、その際には区議会をはじめ、区民の方々のご意見も参考に検討していきます。	12 62 66 84 86 90 103 118 120 123 124 136 150 155 163 191 199 233
209	スポーツを楽しみたい人も大勢いますので、スポーツ施設の設置場所を保障してください。	地域特性や区民ニーズを参考に、施設の維持管理、運営に努めていきます。	20
210	高野小跡地のグラウンドは、いい施設になることを願っています。	区民の皆様が快適に施設をご利用いただけるよう努めていきます。	235

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
(7) 校外施設に関するご意見			
211 く 218	日光林間学園は廃止せず建て直してください。 (同種の意見：8件)	子ども達の自然教室は、区有施設の有無にかかわらず、今後も実施する予定です。その際、保護者負担が高額にならないよう配慮していきたいと考えています。 なお、今回の改訂素案では、日光林間学園の施設の廃止や建て直しなどの方針は定めていません。日光林間学園につきましては、将来に向けた施設維持管理経費の算出や他施設を利用した場合の自然教室との比較検討等を勘案し、今後の施設のあり方を検討していきたいと考えています。	12 66 96 103 169 171 204 233
(8) 保育園に関するご意見			
219 く 246	保育園は子どもにとっても親にとっても命綱です。保育の質を維持していく上でも公立保育園はこれ以上減らさないでください。 (同種の意見：28件) ・民営化することは止めて下さい。 ・保育園は区立存続、新設を求める。	足立区では、多様化する保育ニーズに適切に対応しながら、保育の質の維持・向上を図るために、地域において公立園が果たすべき将来的な役割を「教育・保育の拠点機能」、「地域のセーフティネット」、「保育人材育成の場」の3つに整理したうえで、公立園16園を地域における中心的な役割を担う「拠点園」と位置づけ、施設の更新を行い、存続させることとしました。 ただし、拠点園16園はあくまでも現時点での暫定目標数であり、拠点園の役割検証、保育需要の動向等を踏まえ、必要に応じて見直しを行っていきます。	12 14 15 20 32 35 44 45 47 66 77 96 110

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
219 ↳ 246	(再掲) 保育園は子どもにとっても親にとっても命綱です。保育の質を維持していく上でも公立保育園はこれ以上減らさないでください。 (同種の意見：28件) ・民営化することは止めて下さい。 ・保育園は区立存続、新設を求める。		134 156 171 175 192 195 197 204 205 207 211 213 214 225 233
(9) 学童保育室に関するご意見			
247 ↳ 250	学童保育室は重要です。増設してください。 (同種の意見：4件)	学童保育室の増設は、「児童館特例利用」や「放課後子ども教室」の充実を図りながら、学年を問わず学童保育室を必要とする全ての児童が利用できるよう待機児童解消を目指していきます。 ご意見を受け、施設類型ごとの管理に関する基本的な方針に「学童保育室の増設」についての記載を反映します。	12 99 134 225

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号
251 ↳ 255	学童保育室を公設公営で増やして下さい。 (同種の意見：5件) ・専門の指導員を雇い、学童保育の充実を願います。 ・資格のある指導員のもとで時々気持ちを受け止めてもらい友達関係を築き上げていく必要性が大きく求められています。 ・子どもの居場所の確保、特に長期休業中については定員オーバーの所もあるので、臨時的な対応を求める。 ・学童保育も資格のある人を中心に研修を重ね、よりよい学童保育にしてください。	学童保育室の従事職員は、現在も放課後児童支援員の資格を有する職員の配置を基準で定めています。この基準は、公営・民営関わらず全ての学童保育室で満たしています。 また、今後も、学童保育室の増設を進めていくとともに、「児童館特例利用」や「放課後子ども教室」の充実を図りながら、学年を問わず学童保育室を必要とする全ての児童が利用できるよう待機児童解消を目指していきます。 なお、長期休業中については、近隣の地域学習センター等、公共施設の利用も可能としています。	15 20 211 212 214
256	学童保育室と放課後子ども教室の役割は違うのに、一体化するのは子どもと子どもの家庭状況をつかんでいないで考えるからではないでしょうか。一体化はしないで増設してください。	学童保育室は「保育」放課後子ども教室は「居場所」と役割が異なっていることは認識しています。そのため、保育を必要とするご家庭に対しての学童保育室の増設は今後も継続していきます。 なお、放課後子ども教室は現在のところ全小学校で実施していますが、開催日時や利用できる学年は各学校により異なっています。そのため、制度は違うものの似ている機能をもつ、学童保育と運営を一体的に行うことで開催日や利用学年が拡大し、利便性を高めることができないか検討しているところです。 また、現在のところ全ての放課後子ども教室と学童保育室を一体的に運営することは考えておりません。	17

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
257	低学年の子供は学童保育室が必要です。親が安心して働けるように学童保育室を充実させて下さい。	学童保育室は、「児童館特例利用」や「放課後子ども教室」の充実を図りながら、学年を問わず学童保育室を必要とする全ての児童が利用できるよう整備するとともに、子ども達の放課後の生活における安全安心を図っていきます。	149
258	学童保育室を復活させ、子ども達の放課後の生活を安全安心のものに。		213
(1 0) 高齢者福祉施設に関するご意見			
259 ↳ 260	特養老人ホームの民設民営は止めて下さい。 (同種の意見：2件)	平成12年に現在の介護保険制度が始まり、介護サービスは行政による措置制度から、利用者の選択により多様なサービスを総合的に受けられる、利用者と事業者の契約制度へと移行しました。このため、皆さまからの介護保険料を効果的に活用するために行政が運営するのではなく、ノウハウや経験を活かした運営が可能な社会福祉法人が介護保険法に則り運営をしています。 区では、これら事業者の介護サービス水準の維持・向上のため、東京都の「福祉サービス第三者評価」を各介護事業者に受審いただき、評価結果を公表しています。また、区には事業者に対し、監査を行う部署があり、事業者に適切に運営するように指導等を行い支援しています。	15 58
261 ↳ 262	年金で入れる老人ホーム施設を作ってください。 (同種の意見：2件)	特別養護老人ホーム等に入所するには、介護度に応じて一定の利用料等の自己負担をしていただきますが、所得の低い方には、負担を軽減するしくみもありますのでご相談ください。	50 146

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
263	高齢者のための施設を増やしてください。	介護護施設については、利用者のニーズなどを勘案して策定する介護保険事業計画等に基づいて整備していきます。	43
264	安心して、楽しく過ごせる後期高齢者施設を設置してください。		57
(1 1) 区民事務所に関するご意見			
265 ↳ 276	区民事務所を減らさないでください。 ・ 高齢者が利用するのに不便になる ・ 遠くまで行く事が出来ません。ネットとか使えませんので困ってしまいます。 ・ 都営住宅の減免申請が年 2 回あり。収入報告当の手続が大変になる。 ・ 高齢のため今の場所でも遠く感じている ・ マイナンバー制度により利用が減るは短らく的ではないでしょうか。むしろ「近所の区民事務所で区役所に行かなくても用が足りる」方がよいです。 (同意見： 1 2 件)	現時点では区民事務所を廃止や縮小する方針は立てておりません。 住民票など諸証明がコンビニで取得可能となるマイナンバーカード普及に伴う推移と、町会・自治会等地域団体の活動支援の側面から、今後の区民事務所のあり方を検討していきます。 なお、マイナンバーカードを活用したコンビニ交付は年々増加しており、平成 2 9 年度と令和 5 年度を比較してコンビニ交付は 7 . 1 % 5 5 , 5 5 6 件から 3 1 . 0 % 2 3 4 , 5 1 8 件への増、対して戸籍住民課を含む区民事務所は 7 2 9 , 4 7 8 件から 5 2 3 , 1 8 9 件に、2 0 万 6 千件以上の減となっています。この傾向はマイナンバーカード普及に伴い大きくなるものと思われ、短絡的のご指摘はあたらないものと考えます。区役所に行かなくても、更には区民事務所に行かなくても用が足りる仕組みづくりが進んでいます。	63 90 91 104 109 114 124 138 151 218 222 224

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
277 278	区民事務所は、バス便がなく不便な地域では、住居になるべく近いところにあって欲しいです。 (同種の意見：2件)	将来的に人口減少や人口構造の変化が予測される中、施設の良い環境を維持するために必要な財源を確保していくためには、新たな施設の建設や施設保有面積の拡大には慎重にならざるを得ず、区民事務所を新設する計画はありません。	122 206
279	区民事務所はもう少し近くに増やしてほしいと思っているのに何でも町会、自治会に押し付けるのはおかしいと思います。特に団地、マンション等は役員さんになる方も少なくても今でも仕事が多すぎると思います。	区の施策や事業の推進に際して町会・自治会の皆様にご負担をお掛けしていることを心苦しく思いますが、負担感の軽減は公共施設の問題とは切り離して検討すべきものと考えます。 区民事務所を廃止や縮小する方針は現時点では立てておりません。	226
280	私のうかがう出張所、最近若い方々が多く移っていらして、順番が後になればすごく待たなければならなくなりました。 この例をとり上げてもむしろ取扱所を大きくしてほしいと思っています。	区民事務所では、電子証明書の更新や健康保険証の一本化などマイナンバーカードに係る手続きの増加により、手続きの長時間化とこれによる混雑の常態化を招いています。端末や職員など限りある資源で区民サービスの低下を招かないようにするため、区民事務所での取扱業務の見直しを行った結果であり、これ以上の受付業務の追加や拡充は困難と考えます。	216
281	区民事務所を学習センターの建物内ではなく、独立したものに。 理由は、諸々の手続きは、本庁に行かなければ出来ない。現在の業務の範囲を広げて欲しい。足立区は高齢者が多いとされ、課題も多くあるはず。	区役所や区民事務所に足を運ばなくても手続きが完了できる仕組み（マイナンバーカードを活用したコンビニ交付）が進んでいる側面と、（町会・自治会等地域団体の活動支援の側面から、）今後の区民事務所のあり方を検討していきます。	234

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
(1 2) 災害備蓄倉庫に関するご意見			
282	災害備蓄倉庫は減らさないでほしい。災害時利用しにくくなります。 足立区は区民の目線に立って再検討をお願いします。	災害時の在宅避難者の物資受け取りは、避難所である各学校で対応するため、災害備蓄倉庫では物資を配布しません。 また、既存の災害備蓄倉庫の殆どは老朽化が進み、水害時に浸水してしまうという大きな課題があります。これらの課題を解決するため、新たに旧入谷南小学校跡地に災害備蓄倉庫を整備するとともに、災害時に備蓄物資を迅速に避難所等へ届けるため、地域バランス等も考慮し再構築を進めていきたいと考えています。	58
(1 3) 学校に関連するご意見			
283 }	小学校、中学校を統廃合することは止めて下さい。 (同種の意見：33件)	今回の改訂素案では、学校を廃止するという方針は定めていません。	15 17
315	・学校は減らさないで！ ・学校を減らすほど、そんなに人口が減っているとは思えません。 ・学校は、どこでも平等な教育を受けられることを前提とし、子どもの全面的な人格形成を目的とした地域の父母・住民と共同して築き上げていくものです。 ・学校は災害時に避難所になります。 ・学校は地域コミュニティの拠点であり子どもたちの行き届いた教育のためにも減らさないでほしい。	学校の適正規模・適正配置事業につきましては、統合による子どもたちの教育環境の向上を見据えて取り組んでおり、「学校数を減らす」事を目的とはしておりません。 児童生徒が集団の中で様々な人と関わり、多様な経験を積む機会を増やすことが社会性の育成や人間力の向上に結びつくと考えています。 令和6年4月現在、文部科学省は1学級あたりの標準を小学校35人中学校40人（将来的には小・	19 41 47 55 58 66 70 81 92

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
	・区民の声を広く聞いてください。	中学校35人学級）としており、一定の学校規模を確保することが子どもの教育環境として重要となります。 今後も子どもの教育環境の向上のため適正規模・適正配置事業に取り組んでいきます。 学校の適正規模・適正配置を検討する際は、人口推計に基づき将来にわたる児童・生徒数の推移を見据えて「適正規模・適正配置のガイドライン（案）」にまとめています。 適正規模・適正配置のガイドライン（案）を作成した際にはパブリックコメントを実施し、広く皆様から意見を伺うようにしています。 統合の方針が確定した際には、地域の皆さんを中心とした「統合地域協議会」を立ち上げ、町会・自治会の区域、避難所の収容人数などを考慮し、引き続き統合後の学校が地域コミュニティの核となるよう、地域や保護者のご意見を伺いながら統合を進めていきます。 学校統合後にアンケート調査を行い、アンケート結果については教育委員会と学校が共有し、課題解決に取り組んでいます。	95 96 98 117 119 128 138 140 158 169 171 181 188 189 195 205 207 213 225 226 230 231

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
316 325	不登校も年々増え個別の子ども達の要望をかなえるためには、どうしても少人数学級が大切です。 統廃合をせず、欧米なみに20人学級にしてください。 (同種の意見：10件) ・少人数学級に積極的にしていくべきだと考えます。 ・行き届いた教育のためにも少人数学級が望ましいです。 ・少人数のゆったりした教育をして欲しい。	欧米なみの20人学級にしてくださいとのご要望についてですが、小学校については、義務教育法（公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律）を改正され、令和3年度から5年かけて学年進行で35人学級が実現します。 まずは、中学校を含めた「全学年の35人学級早期の実現について」引き続きあらゆる機会を通じて要望していきます。	12 20 25 45 56 70 77 84 202 226
326	学校統廃合（学校をへらす）について 少人数学級や個に応じた指導に対応していくためにも教室数はこれからも必要と考えます。小さな学校ならではの良さもあるのではないのでしょうか。	小規模学校にもメリットが有る事は理解しています。将来的に、地域の特性により、学校の統合によって適正規模化を図ることが困難になる地域も想定されます。こうした学校は、小規模校のメリットを生かして存続する事も考えられます。	55
327 330	学校の統廃合に関して、まずは子供たちの安全（通学距離、通学路の安全性、スクールバスの導入等）を念頭に計画してほしい。 (同種の意見：4件) ・小学1年生が徒歩で安全に通学できると、親としても安心なので統合しないでください。	学校の統合を検討するにあたりまして、統合後の小学校の通学距離の目安は直線でおおむね1,200m以内、中学校の通学距離の目安は直線距離でおおむね1,800m以内と定めています。 また、これは1年生でも十分に徒歩で通学可能な距離と考えています。 小学校の通学距離の目安は直線でおおむね1,200m以内と定めており、この範囲内ならスクールバスは必要ないものと考えています。今後、学校統合によりこれを大きく逸脱する等した際にはスクールバス導入の可能性も検討していきます。	9 25 71 206

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号
331	学校減らすのはなるべくやめて下さい。そのあと地は売却せずに公園とかにして下さい。	学校の跡地の利活用は、区有地等利活用基本方針に基づき、地域全体の将来像を考慮しながら、行政目的での利用を最優先に検討します。それが適わない場合には、公共性・公益性が高い施設として活用する民間事業者への土地貸付も視野に入れ、活用方法を検討していきます。	145
332	今迄も小・中学校の統廃合が行われ、予想に反して人数が多くなり教室が足りないとか運動場が足りなくて廊下でかけっこをしているなどの問題があり、また遠くなったので通学が大変で危険な個所があり、様々な子ども達の要望に答えられず、学級が混乱しているなどますます学力向上の要求、体力向上の実現にこたえられないような現状が起きています。	統合後の課題については、統合後にアンケート調査を行い、アンケート結果については教育委員会と学校が共有し、課題解決に取り組んでいます。	20
333	現状をふまえた上での廃止・統合は仕方ないとは思いますが、しかし、学校など大きな施設をどんどん廃止してしまう事には反対です。	今回の改訂素案では、学校など大きな施設を廃止するという方針は定めていません。 一方、今後の人口減少により将来的には年少者人口が減っていくこともあり、将来の学校のあり方については、今後、検討していくことになります。	6
334	学校の統廃合が計画されている件、「児童・生徒が減っている」等の状況が理由ですが、子ども達をとりまく環境はよくなっていません。 いじめ、不登校、教職員の過密労働など、少人数教室の規模への早期改善などが急がれます。反対を言いたい。	学校の適正規模・適正配置事業につきましては、統合する事により子どもたちの教育環境の向上を見据えて取り組んでおり、「学校数を減らす」事を目的とはしておりません。 児童生徒が集団の中で様々な人と関わり、多様な	14

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		経験を積む機会を増やすことが社会性の育成や人間力の向上に結びつくと考えています。 令和6年4月現在、文部科学省は1学級あたりの標準を小学校35人中学校40人（将来的には小・中学校35人学級）としており、一定の学校規模を確保することが子どもの教育環境として重要となります。 今後も子どもの教育環境の向上のため適正規模・適正配置事業に取り組んでいきます。	
335	中学校合併の件ですが、まずは選択制になってから悪循環が出来たような気がします。一度選択制を無くして様子をみてから考えてはどうでしょうか？	足立区では、学区域制度の特例として、学区域内の学校への入学を希望する児童・生徒をすべて受け入れたうえで、受け入れ人数に余裕がある場合に学区域外の児童・生徒を受け入れる、学校選択制度を採用しています。	30
336	現在、規模が小さくなっている学校は学校選択制によるものが大きいです。学校選択制を撤廃して、行政や教員がどこの学校でもよい教育ができるような環境整備に努めれば、自分が住んでいる地域から通いやすい距離で安心して学校生活を送れると思います。 また、学校選択制は入りたい部活動の有無が選択の基準になることもあります。部活動の地域移行化にお金をかけることが学校選択制撤廃の大きな理由の1つになり得ると思います。	中学校では特色ある学校を選択したいとの希望が多く、区内全域から学校を選択できる「自由選択制」を採用しています。 学力施策、学習活動、部活動などについて、各々の学校が特色ある取り組みを実施しており、教育委員会としても支援をしている状況です。 現状、学校選択制度を変更・廃止する予定はなく、各々の学校が魅力ある学校づくりをしていただくことにより、生徒数の増加につながるものと考えています。	56

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
337	今年、不登校生が３４万人とのことで、足立区の不登校生は何人ですか。公園はボール投げ禁止が多い、地域で子どもがのびのびスポーツや遊べる場所をもっと作って（自転車公園、ボール遊び公園、スケボー公園等々）	足立区の区立小学校に通っている児童・生徒のうち、令和５年度中の不登校者数は１５３２人です。 また、防球フェンスで囲われたボール遊びコーナーなどの公園施設については、設置や維持に多額の費用が掛かることから、第三次足立区緑の基本計画に基づき、総量抑制を図りつつ、区内にバランス良く配置していく方針としています。その他、自転車、スケボーで遊べる公園は、すでに整備されているため、今後の増設については、地域の意向や現在ある施設の利用状況などを考慮し検討していきます。	41
338	保育園や学校を減らす計画も、少子化に歯止めをかけられない行政の姿をさらけだしているにすぎません。 学校統廃合が真っ先にすすめられた千住地域では、地域のコミュニティの拠点がなくなり、選挙の投票所も遠くなった地域があります。	【千住地域のコミュニティ拠点について】 地域コミュニティ拠点となる生涯学習センターや住区センターがあります。 【千住地域の選挙の投票所について】 千住地域の学校統廃合による投票所の変更は、旧第３中学校から千寿桜小学校に、旧第１６中学校から総合ボランティアセンターに変更した後は、投票所の区域を見直しておりません。 千住地域において、投票区域の境界から投票所までの直線距離が最も遠いのは第１投票区千寿第八小学校で約１１２０ｍ、最も近いのは第３投票区千寿双葉小学校で４８０ｍ、千住地域の１０投票区の平均は７７７ｍとなっています。これは区内の他の地	42

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		域と比較して、著しく遠いとは言えない状況です。 急な選挙に備えるため投票所は学校に設置することが多く、ボランティアセンターや千住庁舎など公共施設も活用していますが、選挙人の利便性を図るため、千住地域には期日前投票所を2か所（シアター1010、千住庁舎）開設しています。投票区の投票区域については、令和5年2月に策定した「足立区投票における諸課題解決に向けた基本方針」に基づいて考えていきます。	
339	小学校、中学校などの既存の施設を、多用途に、土日に開放して欲しい。	入退室の管理や施設のセキュリティの観点から、土日における校庭や体育館の一般利用は考えていませんが、学校開放団体への貸出しについては継続していきます。	46
340	学校が閉校になったら文化的な方面に活用して生かす、災害時に役立つと思います。	学校は、災害時の避難所としての機能を有しているため、例えば統合により使われなくなった学校が出た場合でも、避難所としての必要性を検証し、必要と判断した場合は空き教室の活用や他の公共施設を入れるなど、今ある土地や建物を引き続き活用することで避難所機能を維持することができるか検討していきます。	53

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
341	校庭の人工芝はどうなのでしょう。環境の問題如何なものか。自然第一に考えてください。	学校における体育授業の充実や活発な校庭遊びに繋がるため、区では小学校・中学校を問わず人工芝の導入を標準仕様としつつ、学校や地域の要望や意見を丁寧に確認しながら、個別に導入を判断しています。今後も、ゴムチップ充填材を使用しない製品を選択するなど、環境負荷にも配慮しながら、近隣への土埃被害も未然に防げる人工芝の導入をすすめていきます。	145
342	小中を充実させれば「子育てするなら足立」と若者世代が定着します。またそれを担う職員の住居を保障、区内に定住してもらうことで税収も安定。	当区では、教育委員会の基本方針として、「基礎的・基本的な学力の定着と体力向上を目指す」「多様な体験の場と機会を提供し、学ぶ意欲を育てる」等を掲げ、教育の質を高めるべく取り組んでいます。 現在、区立小・中学校では、GIGAスクール構想のもと、一人一台端末の活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るべく、それぞれ様々な手法を授業に取り入れ、実践し、児童・生徒一人ひとりにとって主体的・対話的で深い学びを得られる機会とするなど、魅力ある学校づくりを推進しています。 今後も魅力ある学校づくりに努めていきます。 また、区立小・中学校における業務について、ICT化や外部人材を活用し、教育を担う教員の負担を軽減することにより、働きやすい環境の整備を進めています。	214

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
343	足立区は今までにかなりの数の小中学校を減してきました。さらに学校選択の自由化によって学区域の学校に行かなくなり、地域に根ざした教育を壊してきました。 結果、過大規模校と過小規模校をつくり出し、一層困難な教育にしていまいしました。 子どもが少なくなるのは、子どもをていねいに育てることが出来る良いチャンスです。世界の流れも1クラス20人規模です。1クラス20人を基準にどれくらいのクラスが足立区内で必要か計算してください。今の1.5倍以上の教室が必要です。 民間事業者のもうけばかりに力を入れないで学校が子どもたちにとっても教員にとってもゆとりあるものにするために学校はこれ以上へらさず逆に増やすぐらいにして下さい（過大規模校を解消するために）。	児童生徒が集団の中で様々な人と関わり、多様な経験を積む機会を増やすことが社会性の育成や人間力の向上に結びつくと考えています。 令和6年4月現在、文部科学省は1学級あたりの標準を小学校35人中中学校40人（将来的には小・中学校35人学級）としており、一定の学校規模を確保することが子どもの教育環境として重要となります。 今後も子どもの教育環境の向上のため適正規模・適正配置事業に取り組んでいきます。 また、文部科学省の「手引き」で、解消に取り組むべき31学級以上の「過大規模校」は、令和6年度現在、足立区にはございません。	217
344	今やる事は、余裕のある教員体制にさせ不登校対応が校長はじめ充分できる環境こそ求められている。	東京都内の公立小中学校の教員は、東京都教育委員会が規定する「教職員定数配当基準」に基づいて配置されています。 一方で、教員不足は全都的、全国的な課題でありますので、東京都教育委員会や文部科学省に対して、教員の増員や処遇改善について引き続き強く要望していきます。	233

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号
345	保育園、小・中学校、学童保育室は適正規模で小学一年生が安心して通える場所にあってほしいものです。その上でも保育園、小・中学校、学童保育室は現在の数を維持しより中身の充実した施設になることを強く望みます。子ども達が一日の大半を過ごす場であるからこそです。 また、現在、不登校児や障がいのある子ども達が増えて来ている現状もあります。大切な子ども一人ひとりに光が当たるように、クラス適正な人数（クラス数がいままでより増えますが）で専門性のある職員の増員により一人ひとりにあった教育の場になることを切に望みます。	学校の適正規模・適正配置事業につきましては、統合による子どもたちの教育環境の向上を見据えて取り組んでおり、「学校数を減らす」事を目的とはしておりません。 児童生徒が集団の中で様々な人と関わり、多様な経験を積む機会を増やすことが社会性の育成や人間力の向上に結びつくと考えています。 令和6年4月現在、文部科学省は1学級あたりの標準を小学校35人中学校40人（将来的には小・中学校35人学級）としており、一定の学校規模を確保することが子どもの教育環境として重要となります。 今後も子どもの教育環境の向上のため適正規模・適正配置事業に取り組んでいきます。 また、クラスの適正な人数については、小学校は、義務標準法（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律）が改正され、令和3年度から5年かけて学年進行で35人学級が実現します。まずは、中学校を含めた「全学年の35人学級早期の実現について」引き続きをあらゆる機会を通じて要望していきます。また、教員不足は全都的、全国的な課題でありますので、東京都教育委員会や文部科学省に対して、教員の増員や処遇改善について引き続き強く要望していきます。	80

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
346	今の東綾瀬中の仮校舎の後、区民事務所と公共施設の建設をお願い致します。	旧こども家庭支援センター等跡地（東綾瀬中学校仮設校舎）は、「保健センター」「区民事務所」「子育てサロン」の公共施設、賑わい機能（商業・交流）を備えた民間活用施設、地域要望の高い「ホール」「本と触れ合える場や学びの場等の居場所」として活用する方針です。	90
（１３）その他			
347 ↳ 352	【施設利用料について】 住区センターの利用料を無料または、安くしてください。 （同種の意見：６件） ・各地域の学習センターの利用料金が他区に比べると高額です。他区並にして下さい。 ・コミュニティルーム又は会議室を無料してください。	施設使用料は４年に一度見直しを行っています が、令和５年度の検討委員会では原則据え置きの方 向となりました。 使用料は、受益者負担の原則に基づき、施設の維 持管理費等の一部を、施設利用者の皆様に負担いた だいているものであり、施設を利用しない方との「負 担の公平性」の確保が必要となることから、現時点 では無料または、使用料引き下げは考えていません。	50 53 60 77 176 203
353	【子どもたちの居場所について】 子どもたちの居場所設を増やして下さい。	子どもたちの居場所にかかる新たな施設を設置す る予定はありませんが、地域の様々な青少年健全育 成団体と連携し、多くの体験事業を実施することで、 子どもたちにとっての「心の居場所（※）」づくりを 進めていきます。 ※自己が大事にされている、認められている等の存在感が実感 でき、かつ精神的な充足感の得られる場所	77

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
354	【緑地の保全について】 地域の大きな家がこわされると同時に大きな木が次々倒されていき、緑が少なくなってきました。緑地のある環境を残して欲しい。	相続等により大きな敷地の売買が生じることにについては、行政として制限する対策は無いのが現状ですが、足立区では、200㎡以上の敷地で建築行為を行う場合は、条例に基準に基づき、緑化計画書の提出や緑化指導を行うなど、一定の緑化を義務付けています。 また、保存樹・保存樹林を所有する方への負担軽減を図るため、剪定補助や落ち葉収集等の管理支援を行っています。これらの取組みに加えて、所有者への支援拡充や特別緑地保全地区への指定など、引き続き緑地の確保につながるような検討を進めていきます。	148
355	【公園のトイレについて】 散歩や用事で尿意をもよおすことがあるが、以前あった公園施設のトイレが撤去されたので、大変困る。公園施設にはトイレを復旧・増設して欲しい。	第三次足立区緑の基本計画に基づき、総量抑制を図りながらバランスの良い配置を目指しています。 公園トイレは、多額の費用を要する施設のため、半径250m程度（徒歩5分程度）の範囲に概ね1箇所の設置としていますが、公園の配置状況に偏りがあるエリアもあるため、改修などのタイミングにトイレの設置・廃止を検討していきます。	46
356	【公園のあり方などについて】 足立区には緑が少ない、公園も少ない、ちょっとすわりたいベンチも少なくて困っています。	足立区では、第三次足立区緑の基本計画に基づき、公有地や民有地の緑の充実を図っていくための取組みを行っています。 また、区立公園の面積は23区内でも2番目と、一人当たりの公園面積に対しても高い水準にありますが、地域によって偏りがあるため、まちづくりなどの機会を捉えた公園の適切な配置に加え、既存公園へのベンチ設置も検討していきます。	18

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
357	【公園のあり方などについて】 緑地のある公園や図書館のある施設、運動のできる建物（興本図書館は周りが住宅地ですが良い環境だと思う）。	緑地のある公園は、周辺公園とのバランスを考慮し、地域の皆さまのご意見を伺いながら整備を検討していきます。 また、図書館は、区内に15館あり、全域的な配置は充足しているため、新たな図書館を整備する予定はありません。 そして、運動のできる建物は、地域特性や区民ニーズを参考に区内の全域的な配置を考慮しながら、検討していきたいと考えています。 今後、公共施設への新たな需要には、空きスペースの転用を第一に検討し、施設保有面積の抑制と公共施設の充実を両立させていきたいと考えています。	49
358 ↳ 359	【竹の塚第五公園について】 竹の塚第五公園はそのまま残してほしい。 （同種の意見：2件）	竹の塚第五公園は、UR竹の塚第3団地3号棟の移転先として活用を検討しています。 竹の塚第五公園の廃止に伴い、新たに竹の塚五丁目広場を都市計画公園として位置づけるとともに、けやき大通り沿いに竹の塚第五公園と同等面積の公共的空間を確保し、整備します。	18 33
360	【竹の塚第五公園について】 竹の塚駅グリーンベルトより、竹ノ塚第五公園をそのまま、駅近の公園は必要です。	目広場を都市計画公園として位置づけるとともに、けやき大通り沿いに竹の塚第五公園と同等面積の公共的空間を確保し、整備します。	196
361	【上沼田小跡地の公園について】 鉛筆門風を残したのはいいと思いますが、そのところどころに駆け出さないようになるか消しゴム風のコンクリート椅子？があります。角張っているので幼児には危ない気がします。消しゴムのように素材を工夫するといいです。 隣のグラウンドの活用度が気になります。一般にも開放	消しゴム型の車止めは、車両の侵入防止や利用者の道路への飛び出しを防止するために区が設置し、材質はコンクリート製としました。 車止めの角は、近々に面取りをします。 また、グラウンドの一般解放は、毎週水曜日の8時～16時（夏は6時～17時）まで行っており、	235

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
	して自由に使える日か時間帯があるといいです。 中での活用は危なくないように工夫は必要。夏など早期貸出などはどうでしょうか。	利用者には、周りにも注意をしながら安全な利用をお願いしています。 夏は、通常解放よりも2時間早い、朝6時から貸し出しており、近隣へアンケートを実施し、ご理解をいただいた上で運用しています。	
362	【都市計画道路と西新井公園の整備について】 個人の財産を奪う大型道路の増設は必要ない。 住民の居住権を無視した西新井公園の建設は白紙に戻すべきである。	道路幅員が広い都市計画道路などは、災害時に物資・人員輸送の機能を担っており、さらに、密集市街地においては、火災に対する延焼遮断帯の役割もあり、大型道路の建設は必要と考えています。 また、西新井公園の計画地である梅島三丁目は、災害対策や交通環境の改善が必要であると考えています。また、これまで地域の皆様からいただいたアンケートにおいても、防災・避難場所を求める声も大きいことから、西新井公園や補助255号線の整備は推進していく必要があると考えています。	211
363	【交通対策について】 足立区の環状七号線の近い場所（沿って）モノレールを東から西へ通したら移動が楽になると思う（佐野～舎人、大谷田～鹿浜）。	環状七号線を基本的な導入区間として、葛西臨海公園（江戸川区）から亀有（葛飾区）、西新井（足立区）を經由して、赤羽（北区）までの約30kmを結ぶ新たな鉄道の構想（メトロセブン）があります。 足立区、葛飾区及び江戸川区は、平成6年に「環七高速鉄道促進協議会」を設置し、行政が一体となって、PR活動や国・都への要請活動等、メトロセブンの実現を目指し、取り組みを行っています。	49

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
364	【千住大川端開発について】 千住大川端に大型マンションではなく区民が年金で安心して入れる介護施設、老人ホーム、若い世代が安心して働いて子育てができる保育園、学校、学童保育の施設にして下さい。	千住大川端地区では、少子高齢化の進展により地域活力の低下や地域コミュニティの衰退の恐れがあることから、地域の適切な人口構造を維持するため、ファミリー向け住宅だけでなく、多様な家族構成に対応でき、安心して暮らせる魅力的な住宅供給が必要であると考えています。 また、開発にあたっては、地域に不足する商業機能やサービス付き高齢者向け住宅、デイサービスといった社会福祉機能、保育園や学童保育施設などの子育て支援機能を導入し、地域のお年寄りや若者まですべての世代が暮らしやすいまちを目指し、事業者と協議を進めていきます。	51

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
第 1 1 章 計画の進行管理を推進する体制の強化と仕組みづくり			
365 384	区の土地や建物（施設）は、安易に売却しないでほしい。有効活用してほしい。 （同種の意見：20件）	区の土地や建物は、必要な行政需要について区民の皆様のご意見をお伺いしながら活用方法を検討し、民間活用を図る場合は、基本的には民間事業者に貸し付け、長期的に安定した財源として公共施設の維持管理・更新経費に充てていきたいと考えています。 また、有効活用が困難な土地や建物は、区民の皆様のご意見をお伺いしながら、売却も含めて検討していきます。	17 20 25 29 39 113 124 125 127 128 132 137 200 201 202 207 209 223 227 228
385	とても大切な事なので、町会の掲示板を利用するなどして、もっと区民の方に周知してほしい。	町会の掲示板や区ホームページ、SNSなど様々な媒体を活用し、老若男女問わず、多くの区民の皆様に、タイムリーかつ分かりやすく情報を発信できるよう検討していきます。 また、ご意見を受け、情報発信手段の一つとして、町会・自治会の掲示板を活用することを検討する旨、計画に追記します。	2

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号
386	区民の方々全てを巻き込んで削減案ができればいい。	計画を進めていくためには、区民の皆様のご理解が不可欠です。 今後、区民フォーラムやワークショップなどの実施も検討していますが、その他どのような手法で区民の皆様とコミュニケーションをとることができるか、検討していきます。 また、ご意見を受け、幅広い年齢層や地域の区民の皆様と意見交換できる場を設けることを検討する旨、計画に追記します。	2
387	改訂素案に賛成だが、コアな利用者は反対すると思うので、丁寧に説明していくことで理解者を増やす必要がある。	多くの区民の皆様にご理解いただけるよう、今後より一層丁寧な説明に努めていきます。 また、ご意見を受け、今後より丁寧な説明を行って行くことを検討する旨、計画に追記します。	3
388	公共施設利用者にアンケートを取ってみてはどうか。 施設の削減にあたって、特に保育園・学校は、こどもを通わせている忙しい現役世代の意見を取り入れ尊重してほしい。	利用者へのアンケートは、現在各施設で行っていますが、それぞれの施設ごとにバラバラの内容になっているため、今後、どのように内容を統一してアンケートを実施できるか、研究していきます。 また、できるだけ多くの世代の方の意見を取り入れることができるよう、アンケートの実施方法も含め、検討していきます。 また、ご意見を受け、施設利用者に対して施設の満足度や要望等の意向確認を行う方法として、アンケートの実施を検討する旨、計画に追記します。	3

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
389	11 / 12の説明会は、出席者が現役世代は皆無で、ほとんどが高齢の方、PTAの方でした。 現役世代の方や、区民全体に関心を持ってもらい、意見を出しやすい環境づくりが必要だと思う。	説明会の開催については、町会掲示板、区ホームページ、LINEなどで周知を図りましたが、周知が不十分だった部分がありました。 今後、幅広い年齢層の区民の皆様に関心を持っていただき、意見を出していただけるような環境づくりに努めていきます。 また、ご意見を受け、幅広い年齢層や地域の区民の皆様と意見交換できる場を設けることを検討する旨、計画に追記します。	3
390	幅広い年齢層、地域の区民の方に計画のオブザーバーとして協力してもらってはどうか。	今後、区民フォーラムや地域別のワークショップなどの実施を検討していますので、その検討の中で幅広い年齢層・地域の方にオブザーバーになっていただけるような手法を検討していきます。 また、ご意見を受け、幅広い年齢層や地域の区民の皆様と意見交換できる場を設けることを検討する旨、計画に追記します。	3
391	公共施設や道路インフラなどの民間での管理委託を考えてほしい。	足立区では、公園の維持管理等の一部に民間委託を導入していますが、公共施設では指定管理者による施設運営・維持管理等に留まっているのが現状です。 今後、例えば学校、住区センターなどのまとまった数のある施設について、施設管理等を民間に一括して委託する包括管理委託などが導入できないか、研究していきます。 また、ご意見を受け、公園の維持管理等に導入している民間委託について検証し、委託範囲の拡充などを研究していく旨、計画に追記します。	7

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号
392	施設のスリム化・空きスペースの活用にあたり、十分な財源がない、収入があまり望めないが、それなりに教育的に価値があると思われる施設への貸し出しを考えてほしい。 また、個別相談会の実施、窓口の設置を考えてほしい。	施設の空きスペースは、基本的に行政目的での利用を前提としていますので、貸し出しなどによる活用は考えていません。 また、足立区の公共施設は、それぞれ施設所管課において管理運営していることから、個別相談会の実施、窓口の設置については、可能かどうかも含めて、今後、施設所管課と検討していきます。	8
393	現状が人口のピークに近く、その段階で抑制的な説明をすると反発が多く、苦勞していると思うが、人口が減り、お金のない段階になって検討を始めては遅いので、ぜひ広く周知するよう、広報活動を進めてほしい。	ご意見をいただいたとおり、人口が減り、お金がない段階で検討を始めては遅いため、今のうちから少しずつできることをやっていく必要があると考え、今回、区の現状と課題、具体的な取組みなどをお示しさせていただきました。 今後、区の現状と課題について、区民の皆様に広く周知・広報し、ご意見をいただきながら持続可能な仕組みを構築していきたいと考えています。	10
394	「P F I 等の官民連携手法の検討」とのことですが、民営化を安易にしないでほしい。 民営化によって一時的にコスト削減ができるが、長い目で見ると必ずしもそうでないこともあるので、民営化を検討する場合は慎重に検討してほしい。	今後の厳しい財政状況を見据えると、行政サービスの水準を維持しながらコスト削減や財政負担の平準化を図るためには、公共施設の整備・運営や行政サービスの提供に民間の資金やノウハウを積極的に活用することが必要と考えていますが、民間活力の活用にあたっては、メリット・デメリットを慎重に検討していきます。	16
395	お金がかかるからといって、何でも民間に丸投げしてしまうことはやめてほしい。民間は、利益が出ないと撤退してしまうので、最低限保障しなければならないことは公共でやるべき。		41

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
396	公共施設や公共交通は、住民の必要に応じて充実させるべきです。そのためには、住民と共に議論し、つくりあげていく、機会と時間が必要です。 議会だけでなく、より広く住民参加を保障してください。	区民の皆様と意見交換を重ね、しっかりと時間をかけて検討していく必要があると考えています。 今後、区民の皆様とどのような形でコミュニケーションをとることができるか検討していきます。 また、ご意見を受け、幅広い年齢層や地域の区民の皆様と意見交換できる場を設けることを検討する旨、計画に追記します。	34
397	専門家・有識者による諮問機関を設ける場合、審議内容を公開し、はじめから住民参加を保障することが基本だと思う。		76
398	計画決定のプロセスに、幅広く地域住民の声を聴き、論議を重ねながら思いやアイデアを織り込んで、一人ひとりの納得感を高めていくなど、今後の施設のあり方を、計画決定プロセスも含めて考えてほしい。		78
399	若い人も使いやすいものにしてほしい。	区民ニーズの変化に応じて、老若男女問わず、使いやすい公共施設を提供することができるよう検討していきます。	128
400	指定管理制度を再検討してほしい。	指定管理施設に関する一連の法的書類（区と指定管理者との協定書等）の弁護士リーガルチェックを実施し、運用上の様々な課題を洗い出しました。 現在は、洗い出した課題を踏まえ、運用の見直しに着手しているところです。	220

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
計画全体に関すること			
401	財政を考えることは必要だが、区民の声を集め、実現に取り組む地方自治体としての大きな視点・役割を果たしていくべき。	今後の見通しを想定する必要があったことから、将来の財政状況の見通しをお示しました。 今後、計画を推進していく中で、区民の皆様にご意見をお伺いしながら、地方自治体としての役割を果たしていきます。	15
402	この計画のパブコメも、他の計画と同様の手続きで行っていると思うが、パブコメを実施していることすら多くの区民は知らない。 区の広報に素案の概要掲載、パブコメ募集中など含め、区民に十分知らせ、区民が考える時間をとる、区に意見などを言えるようにすることこそ区がやらなければならないことだと思う。	パブリックコメントは、あだち広報、区ホームページ、SNSを活用した情報発信、区民説明会、町会・自治会掲示板への掲示などにより周知を行い、令和6年11月12日から12月12日まで実施しました。 より多くの区民の皆様に周知し、ご意見をいただけるよう努めました。いただいたご意見は、パブリックコメントの担当所管課に共有し、改善に努めていきます。	15
403	パブコメだけでなく、区議会での審議、審議経過を区民に伝えること、十分な時間、十分な期間をとって、区民が考え、理解して決めていくことが必要だと思う。	パブリックコメントは、計画素案について広く区民の皆様のご意見を募集し、いただいたご意見を計画に反映することを目的に実施しました。 区民の皆様からいただいたご意見、そのうち計画に反映したものなど、計画の内容は区議会でご審議いただき、計画を策定していきます。	15
404	今後の人口減少・少子高齢社会を考慮すると、今ある全ての施設に税金を投入し無理に残すことは、将来負の遺産になりかねない。	将来世代にツケをまわさないためにも、今から少しずつできることを始めていく必要があると考えています。	54

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
405	この素案は、「お金がないから、今後、公共施設の新設等ができない」ということを区民に知らせるものとなっている。民営化は区政放棄だと思う。	今後、少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少が見込まれる中、「安全・安心」の公共施設を提供するためには、施設保有面積を今以上に増やさないようにする必要がありますと考えています。 また、区民の皆様に必要な行政サービスを提供することは、区の責任であると認識しており、行政サービスの水準を維持しながらコスト削減や財政負担の平準化を図るためには、公共施設の整備・運営や行政サービスの提供に民間の資金やノウハウを積極的に活用することが必要と考えています。	59

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
その他			
406	自治体は、住民生活を快適にするために、住民サービスの充実を政策の基本とするべきで、若者人口を増やすためにやることもある。	区はこれまでも、区民や区内事業者の皆様の声をお聞きし、災害対策や物価高騰対策、高齢者の方に対する各種助成事業や子育て支援策など、区民の皆様の「安心と活力」の実現に向けた施策を進めてきました。 また、令和6年12月にも、一般的に経済的負担が大きいとされる多子世帯への支援を含めた、子育て支援施策を検討するためのアンケート調査を実施しており、結果がまとまり次第、必要な支援策を可能な限り速やかに行っていく予定です。 引き続き、区民の皆様のニーズを捉えながら、区民サービスの充実を図っていきます。	34
407	日本全体の少子高齢化は否定できないと思うが、一極集中の傾向から大都市の人口が大きく減ることはないのではないか。 また、足立区は首都東京23区の1区であり、行政のやり方次第では人口が増えることもあるのではないか。 そのために、高齢者が暮らしやすく、若者に魅力的な施策を実施する必要があると思う。	今後は、足立区でも少子高齢化がさらに進み、令和6年2月公表の人口推計では、日本人人口のピークは2023年と見込まれており、区内総人口も中位推計で2036年をピークに減少に転じる見込みです。 区としては、人口減少のカーブを少しでも緩やかにするために、災害対策や物価高騰対策、高齢者の方に対する各種助成事業や子育て支援策など、区民の皆様の「安心と活力」の実現に向けた施策を進めてきました。 今後も区民の皆様のニーズを捉えながら、公共施設のあり方を含め、幅広く、きめの細かい施策を検討していきます。	46

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
408	人口 69 万人が増えるか減るか、税収が増えるか減るかは、国や自治体の政策にかかっている。	令和 6 年 2 月公表の人口推計では、生産年齢人口（15～64 歳）については中位推計で 2027 年をピークに減少に転じる見込みであり、納税者の減少による減収が想定されます。 区としましては、エリアデザインに基づく民間活力の誘導や区有地等を効果的に活用し、魅力あるまちづくりを進めるとともに、乳幼児期から切れ目のない子育て支援策等を実施し、担税力のある世帯の誘導を図っていきます。	46
409 ～ 413	人口を減少させない、増加させる施策を展開すべき。 (同種の意見：5 件)	日本の総人口は、2008 年をピークに減少しており、現在の人口構成と少子化の流れの中で、将来的な人口減少をとめることは大きな課題であると考えています。 一方、区では人口減少のカーブを少しでも緩やかにするべく、学校給食費の無償化や給付型奨学金の新設、出産費の助成開始など、子どもを希望する方が出産をためらうことがないように、これまで様々な経済的負担の軽減策を、独自に実施してきました。 また、令和 6 年 12 月にも、一般的に経済的負担が大きいとされる多子世帯への支援を含めた、子育て支援施策を検討するためのアンケート調査を実施しており、結果がまとまり次第、必要な支援策を可能な限り速やかに行っていく予定です。 少子化は、価値観の変化や、子育て環境、経済的負担への不安など様々な要因が考えられ、対策には国や都道府県の広域的な取組も不可欠ですが、区としましては引き続き区民の皆様のニーズを捉えながら、必要な対策を検討していきます。	28 45 88 116 128

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
414 ↳ 417	基金を区民要望や区民生活のために使ってほしい。 (同種の意見：4件)	基金は、様々な行政需要に対応するため、災害対策、施設整備、育英資金等の子どもへの支援、環境や緑の保全など、それぞれの目的に沿って積み立て、その目的を達成するために活用しています。 基金総額のうち約69%は、公共施設や学校の改修・建替えなどに活用するための基金です。 今後も区民の皆様には「安全・安心」の公共施設を提供できるよう基金を活用していきます。	18 25 124 194
418 ↳ 419	基金の目的・使途を公開してほしい。 (同種の意見：2件)	基金の目的・使途は、毎年発行している「予算のあらまし」「決算のあらまし」で公開しており、併せて区ホームページでも「基金の状況」として、各年度の積立額・活用実績、積立予定額・活用予定を公開しています。	34 59
420	土地や建物を売却したお金を財源に何をするのか。	区の土地や建物は、区民の皆様にご意見をお伺いしながら活用方法を検討し、民間活用を図る場合は、基本的には民間事業者へ貸し付け、長期的に安定した財源として公共施設の維持管理・更新経費に充てていきたいと考えています。	201
421	土地にスペースがあると、区が買い上げてプチテラスにしているが、これ以上いらないのでその予算を老朽化対策の費用に充ててほしい。	比較的公園が少ないエリアで、かつ公園のような大きな敷地を確保できない場合に、プチテラスとして整備しています。 特に、密集市街地では、延焼を抑制する機能や災害時の集合スペースなど、防災機能も有しているため、必要なオープンスペースとして確保しています。	11

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		このため、エリアごとの公園配置やバランスを踏まえながら、費用削減の可能性を検討し、施設の老朽化対策に費用が充てられるよう努めていきます。	
422	今回の区の公共施設等総合計画は区民の願い実現ではなく、区財政論が主な理由になっている。	今も、将来も、区民の皆様に公共施設を「安全・安心」にご利用いただき、必要な行政サービスを提供し続けることが、区の使命であり責任であると考えています。 そのために、まずは、今かかっている改修・建替えや維持管理費を今後どのようにして削減できるか、検討していきます。	21
423	この計画には区民、区政に対する愛情を感じられない。諸困難はどこの自治体でも抱えており、それを住民と乗り越えていくのが自治体職員の仕事ではないか。 区政をどう改善していくのか、努力方向を示せない計画では、区民は納得できない。 この素案を作成した担当部局は単なる会計担当部局なのか、自治体職員としての任務をどう考えているのか。区民に展望を与えられないのであれば、辞めてもらうしかない。	将来世代に過度の負債を残さないよう、世代間負担の公平性の視点も踏まえて作成しました。 今だけではなく、これから先の区政、区民の皆様のこと考えながら、できるだけ将来世代にツケをまわさないためにも、今から少しずつできることを始めていく必要があると考えています。 今後、様々な課題が出てくると思いますが、区民の皆様とコミュニケーションを図りながら、解決していきたいと考えています。	59
424	公共施設の統廃合、複合化について真剣に考えることは、痛みは伴いますが、最終的には子どもたちの未来と資産を守ることに繋がります。		48

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
425	区民が人生を楽しめるような公共施設にしてほしい。	今後も区民の皆様に「安全・安心」に公共施設をご利用いただけるよう、努めていきます。	20
426	小学校の体育館、住区センターの体育館を利用しているが、冷暖房があり快適に利用できている。	今後も区民の皆様に快適に公共施設をご利用いただけるよう、努めていきます。	6
427	災害時の避難所として、それぞれの地域に学校がある必要がある。避難所が遠いと高齢者や障がい者が避難できない。	学校は、災害時の避難所としての機能を有しているため、例えば統合により使われなくなった学校は、避難所としての必要性を検証し、空き教室の活用や他の公共施設を入れるなど、今ある土地や建物を引き続き活用することで避難所機能を維持することができるか検討していきます。	25
428	学校は、解体するより活用する方向で考えてほしい。		106
429	大規模災害が現実視されている今、公共施設は減らすことなく少しでも住民に身近な場所に確保されるべきです。		214
430	コロナ禍もあり、自治会での避難訓練が3年余り行われていないため不安である。	コロナ禍のため訓練を中止していた町会・自治会の中にも、訓練を再開したところも徐々に増えていますが、防災区民組織合同研修会等を通じて、定期的な訓練実施を働きかけていきます。	6
431	災害時に避難所である六中・寺地小にはエレベーターがないため、設置してほしい。	学校へのエレベーターの設置につきましては、既存校へのエレベーターの後付け設置は長期の工事期間を要する大規模な工事が必要なため、学校活動への支障が大きく、実質的には後付けは困難です。 そのため、学校の改築工事を行うタイミングの際に、設置の検討を行っていきます。	94

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
432 } 433	公共交通を減らさないでほしい。公共交通の確立は区の責任で行うべき。 (同種の意見：2件)	少子高齢化の進行、コロナ禍による生活様式の変化、運転士不足の深刻化など公共交通を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。 そのため、持続可能な移動手段の確保を目標とする法定計画である「足立区地域公共交通計画」の令和7年3月策定に向け、現在、関係機関等で構成する協議会で検討を進めているところです。	27 119
434 } 439	バスを減便・廃止しないでほしい。バスを増便してほしい。バス会社を支援してほしい。 (同種の意見：6件)	現在、全国的に問題となっているバスの減便や廃止は、赤字路線だからという理由だけではなく、深刻な運転士不足も大きな要因となっています。 そのような社会情勢を踏まえ、令和6年4月からコミュニティバスはるかぜ7路線を対象に、運転士確保に向けた人件費増分や職場環境の改善等に関する費用も含めた運行経費を足立区が負担し、バス事業者と連携しながら路線の維持を図っていく協働事業を開始しています。	62 105 129 172 213 229
440	教育に関する事業は、民営化せず公で行うべき。	教育に関する区の事業の一部について、民間企業の人材やノウハウ、技術等を活用することで、コストの削減や効率化、質の向上、人材不足の解消等が図られています。 具体例として、家庭の事情などにより、塾等の学習機会が少ないが、成績上位で学習意欲が高く、将来の夢の実現に向けて難関高校等への進学を目指す中学3年生を対象とした「足立はばたき塾」では、民間教育事業者を活用して難関高校等の受験に特化	81

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		した講座及び最新の受験情報を提供することで、志望する高校への進学を支援しています。 引き続き、民間の力も活用しながら事業を進めていきます。	
441	待機児童をゼロにしてほしい。	保育園の待機児童は、令和3年度に初めて待機児童ゼロを達成した後、ほぼゼロの状態を継続しています。 足立区内における就学前人口が毎年約1,000人程度減少していることから、現時点では新規の保育施設整備の考えはありませんが、既存の保育施設を最大限活用しながら、適正な保育定員数を維持していきます。 また、学童保育室の待機児童は、「児童館特例利用」や「放課後子ども教室」の充実を図りながら、学年を問わず学童保育室を必要とする全ての児童が利用できるよう待機児童解消を目指していきます。	124
442	子育て支援を考えてほしい。	足立区ではこれまで、子育て家庭や妊産婦が身近な場所で相談し、必要な支援を受けることができる支援体制の充実や、子育て中の親子が気軽に集まって相談や交流などを行う拠点の整備などに取り組んでまいりました。 今後はこれまでの支援策に加えて、こども家庭庁が掲げている「子どものウェルビーイングの向上」を目指し、支援が届きにくい子育て家庭に必要な支援が行	128

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		き届き、子ども・保護者の孤立・孤独を防止していく取組の充実を図っていきます。	
443	修学旅行、学用品など無償化してほしい。	足立区では、限られた予算の中で経済的理由により就学が困難な世帯に対する就学援助制度において、修学旅行費や学用品費などの必要経費を支給していますので、全世帯を対象としたこれら経費の完全無償化は現時点で考えておりません。	27
444 ↳ 445	介護保険料を下げしてほしい。介護保険料が高すぎる。 (同種の意見：2件)	介護保険料（基準額）は、3年度を1期とする介護保険事業計画において算定されており、次回は令和9年度から令和11年度までを計画期間とする第10期介護保険事業計画で算定することとなります。 介護保険料（基準額）は、計画期間にかかる費用を被保険者数で割って保険料を算出しますが、介護サービスの利用が増えると、かかる費用も増加するため、保険料が上がる要因となります。 そこで足立区では、元気な高齢者を増やし、介護保険にかかる費用を抑制するという考えのもと、介護予防事業に重点的に取り組んでいます。 これらを踏まえ、財源不足にならないことを大前提とし、総事業費等の推計を十分に精査したうえで、可能な限り介護保険料の上昇を抑制できるよう、最大限の努力をしていきます。	27 60

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
446 ↳ 447	国民健康保険料を下げしてほしい。 (同種の意見：2件)	医療費適正化の取組を通じ、保険料負担の抑制に努めていきます。	27 221
448	後期高齢者医療の窓口負担を2割にしないでほしい。	増大する社会保障費を抑制し国民皆保険制度を維持していくためには、全世代対応型の社会保障制度の構築が不可欠となります。 そのため、後期高齢者の方々にも負担能力に応じて応分の負担をしていただく必要がございます。現行の負担割合（3割・2割・1割）にご理解いただきますようお願いいたします。	167
449	区民に生活支援金を出すべき。	生活支援金についてですが、現在、令和6年11月に国が閣議決定した「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づく、物価高の影響を受ける低所得世帯への給付金の支援について、早急に給付金を届けられるよう準備を進めています。 また、暮らしに困っているときに、暮らしに必要なお金や医療などを給付し、最低限度の生活を保障する生活保護制度があります。お住まいの地域を担当する福祉課へご相談ください。	27
450	高齢者の日々の生活の安全のための補助を配慮してほしい。緊急ベルの要件なしの貸与など、生活に密着した援助を考えてほしい。	慢性疾患等により日常生活を営む上で常時注意を要する状態にある高齢者に対する緊急通報システムの設置については、令和5年度から無償化しています。 また、現在、侵入盗対策に絞った18品目の侵入	99

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		強盗・窃盗緊急特別対策補助金を実施しています。 補助金だけでなく、特殊詐欺対策として乾電池式センサーライトや防犯フィルム、自動通話録音機の無償貸与も実施しています。 今後も、安全・安心なまちづくりに向け、多様な世代に向けて様々な補助を実施していきます。	
451	高齢者の健康増進、フレイル対策を拡充してほしい。	区では高齢者のフレイル予防に向けて、地域学習センターや住区センター、公園等、身近な区の施設を会場に幅広く参加機会を確保しています。 区の施設では、施設数や定員、開催時間が限られているため、今後は、いつでも、どこでも、誰とでも、一人でも参加できる機会を増やしていくため、LINEを入り口としたデジタルを活用したフレイル予防、さらには認知症予防も含めた複合介入型の事業を展開していきます。	99
452	公共施設を減らす前に、民間主導の再開発をストップしてほしい。 また、不要不急の都市計画道路などもストップしてほしい。	現在、検討が進められている北千住駅東口の再開発事業は、災害時の避難場所やバリアフリー動線の確保、駅前道路の拡幅等による歩行環境の改善など、災害への備えや地域課題の解消を図る上で、必要な事業と考えています。 今後、公共施設整備や旧市街地の活性化、防災性の向上を推進するため、国庫補助と併せて適切な補助金の執行に努めていきます。(まちづくり課) また、都市計画道路は、災害時の物資・人員輸送の機能を担っており、さらに、密集市街地では、火	78

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
		災に対する延焼遮断帯などの役割もあり、必要な整備と考えています。	
453	六町エリア開発 六町駅大深度地下空間開発。防災シェルター及び、専用地下道路設置。 バリアフリー化を地上部分改良も必要だが都、国も協力必須の上、小菅駅、綾瀬駅西口、六町駅、五反野駅、足立区役所を地下空間で繋ぎ、自動運転車両を運行させる。各路線が繋がり利便性がある。 各公共施設を地下空間に設置すれば地下学校、保育園、介護施設、医療機関、など場所ごと車両移動もできる。大災害時にも有効である。 交通アクセスポイントだけではなく災害備蓄搬送、災害関係対応者の移動の各場所での確保にもなる。 バリアフリー設計者は制限が少なくなりより良い設計選択肢が増える。地下移動手段は必要になる。	国土交通省が定めている大深度地下の公共的使用に関する特別措置法による地下空間の開発や道路設置は、広域的な整備に加え、区が管理するインフラ施設が更に必要となることから、多額の費用が発生し、区の財政負担がより増大するため、現状を踏まえると現実的ではないと考えています。 また、地震対策などに対して、一定の効果は見込まれると想定されます。 しかしながら、最近では、台風やゲリラ豪雨などの水害も多く、特に足立区は、低地が多く、河川に囲まれているため、浸水の影響が大きくリスクも高いと考えています。	64
454	西新井駅前の開発を早く進めてほしい。	西新井駅西口の駅前には、任意の再開発準備組合が発足し、定期的に区と協議を行いながら計画づくりを進めています。 また、西口駅ビルは、東武鉄道と継続的に協議を行っています。 区も地域や議会などのご意見をお伺いしながら進めていきます。	235

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
455	公園にトイレを設置してほしい。	公園トイレは、多額の費用を要する施設のため、半径250m程度（徒歩5分程度）の範囲に概ね1箇所の設置としていますが、公園の配置状況に偏りがあるエリアもあるため、改修などのタイミングにトイレの設置・廃止を検討していきます。	15
456	子ども食堂を支援してほしい。	新たに子ども食堂の立ち上げを希望する方や団体向けに、NPO活動支援センターで立ち上げ支援をしています。 また、すでに子ども食堂を運営している団体には、運営にかかる経費の一部を補助する支援をしています。 このほか、子ども食堂MAPや子ども食堂一覧を区のHPに掲載するなど周知も図っています。	124
457	リチウム電池を回収してほしい。	リチウムイオン電池など二次電池につきましては、本来、製造者責任の観点から、業界団体であるJBRC（小型充電式電池リサイクル一般社団法人）の協力店や家電・携帯販売店を紹介しています。 しかしながら、引取れる製品が限定的なため、どこにも引き取ってもらえないとのご相談が多く寄せられ、区としてどのような対応ができるか検討をしています。 現在、試行ではありますが、国や都と連携して、足立清掃事務所への持込限定での引き取り対応を行っていますので、まずはお電話で足立清掃事務所にご相談ください。	60

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
458	図書の要望と提案として、コロナ前は難なく受け付けていた寄贈本の受付をお願いしたい。 図書館によっては棚が広く空いている所もあるのに、現在、所蔵が多いという理由で出版年数5年以内の物に限られている。 対策として、棚卸作業時に汚い本や貸し出しの動きのない本の見直しを図る。同じような内容本がありすぎるのも困る。 そもそも、寄贈したいと思っている本は丁寧に扱っているため、きれいな状態。そのような本と寄贈本を差し替える等の対応をお願いしたい。	足立区立図書館では、ご寄贈図書の受付を出版年数で限定はしておりません。 出版社や著者の方からのご寄贈のみ承っています。主な理由としましては、書架スペースに限りがあることが挙げられます。 ご提案いただきましたような書架整理は定期的実施しており、新刊の日々の配架などに備えていますが、現在のところ寄贈図書の受付を再開することは難しい状況です。 区民の皆様が状態の良い図書を手放される際には、ぜひ各館に設置していますリサイクルコーナーをご利用ください。	11
459	他区に比べ足立区では1人当たりの蔵書冊数も少ないらしい。 それもそのはずで、新刊本リクエストを自宅PCから申請しても、その後の進捗は不明。 他区や都立図書館に蔵書がある場合は本来図書館スタッフの業務なのに、区民が調べてリクエストとは別に申請しなければならない。区民の手間がかかる図書館システムなのだから、こうした点は改善すべき。	足立区立図書館ホームページ上で実施している「購入の要望の受付」につきましては、購入可否の個別の回答はいたしかねます。 しかしながら、条件をあらかじめ登録しておくことで、その条件に合う本が所蔵されたことを毎週日曜日にメールでお知らせする「新着図書お知らせメールサービス」がありますので、ご利用いただければ幸いです。 また、他区や都立図書館の蔵書を取り寄せる際にご不便をおかけしている点につきましては、窓口のほか電話、メールにて区立図書館にお問い合わせをいただけましたら、ご希望の資料が他区で所蔵されているかを、職員が確認のうえご案内いたしますので、ぜひご活用ください。	11

No	意見の概要	区の方考え方	全文一覧 参照番号
460	約築４７年の建物に住んでいるが、遠い将来、５０年後等に近隣の公共施設との総面積で建替えをする計画をお話ししたい。 建替を９０年とできる根拠を公表してほしい。	区の施設所管部署が複数にわたるため、一度、公共施設マネジメント担当課職員がお話をお伺いさせていただければと思います。 ９０年で建替という試算条件について、これまでの計画では長寿命化を８０年としていましたが、近年建物の耐用年数を評価できる手法が出てきており、その結果、更に長寿命化を図れる評価結果となる事例が多いことから、今後足立区としてもそういったことに取り組むことを想定して設定しました。 なお、この年数はあくまで試算条件として設定したものですので、建物の状態や、建物に要求される機能が改修では対応できない場合などは、この年数よりも早く建替えを行うことも十分考えられます。	4
461	説明会で、質疑応答は１問１答というルールをほとんどの方が守っていなかった。	説明会は、できるだけ多くの方からご意見・ご質問をいただくため、１問１答とご案内しておりましたが、複数のご意見・ご質問をご発言された方も見受けられました。 そのため、ご意見をいただいた次の説明会から、司会より改めてルールを守っていただくよう伝えるようにしました。	5
462	区民の声を十分に聞き、反映してほしい。	公共施設等のあり方の検討は、区民の皆様のご意見をお伺いしながら進めていくことが重要と考えています。 今後、区民向けフォーラムや地域別ワークショップなど、一人でも多くの区民の皆様からご意見をいただくことができる手法を検討していきます。	15
463	区の施設は区民の財産であり、区民一人ひとりの声を聞くべき。		27

No	意見の概要	区の考え方	全文一覧 参照番号
464	パブリックコメントの募集期間は1ヶ月では短すぎる。幅広く、区民からの声を参考にするのであれば、最低でも半年は必要。	足立区では、パブリックコメントでの意見募集期間を30日以上としています。 今回の改訂素案については、計画策定までのスケジュールを考慮し、11月12日から12月12日までの31日間実施しました。 いただいたご意見は、パブリックコメントの担当所管課に共有し、改善に努めていきます。	46
465	パブリックコメントは、もっと多くの方が参加できるようにしてほしい。	今回のパブリックコメントは、区ホームページやSNSなどでの周知以外に、町会の掲示板でも区民説明会の開催と併せて周知しました。 いただいたご意見は、パブリックコメントの担当所管課に共有し、改善に努めていきます。	226
466	区の知的・文化的レベルアップと区民の精神的不安を保持する為支出してほしい。	ご意見の主旨が分かりかねますため、回答することができません。	99
467	学校とか困っている人に使ってください。私高校の施設費高い見たいです。		161

別紙 2

足立区公共施設等総合管理計画【令和6年度改訂】素案に対する区民等の意見（全文）①

いただいたご意見のうち、全文公表を希望しない方の意見を除く意見の全文を「受付順」に掲載しています。

なお、個人を識別できたり、第三者の権利利益を損ねるおそれのある情報は、全部・一部を削除又は概要のみを記載しています。

No	いただいた意見
1	(1) K P I は人口減の 1 1 % ではない。業務（ソフト面）の検討から複合化も含め、再配置、減少を検討し、K P I としては 2 0 % 等で設定しないと 1 1 % さえ達成できない。 (2) 人口構成から、維持費充当予算を算出。
2	(1) とても大切な事なのでもっと区民の方に周知をお願い致します（例えば町会の掲示板を利用する等）。 (2) 維持管理経費の経費別グラフの「指定管理料」に人件費が入っていないのはなぜでしょうか。維持管理委託料と合わせると 4 5 . 4 % になるので、何か削減する方法はないのでしょうか。 (3) 区民の方々、全てを巻き込んで予算削減案が出来るといいですね。私も家族と話し合ってみたくて思いました。
3	(1) 自治体の予算は人口数に伴うもの、限りがあるものと思っておりますので、改訂素案に賛成です。ただ、コアな施設利用者は反対するでしょうから、推進する区役所の丁寧なご説明と理解者を増やす事が肝心かと思えます。 (2) 理解者と賛同者を増やすには、実績に基づく裏付けが必要です。その為には、①各施設の区民利用者数・利用時間・年齢層を調べ、年間の稼働率調査が必要だと思います。是非、調べて頂き公表お願いします。そうすれば、利用者数の少ない場所は削減候補になっても仕方ないと判断できます。 (3) 又、上記と併せて、保育園・小学校や中学校の保護者、実際に運動施設（プール・テニスコート・運動場など）利用者、区民事務所利用者にアンケートを取ってはどうか？この事業の周知の一環で、町会・区議の手助けもあった方がいいと思いますが、偏りが出る恐れがあるので、手助けはいいと思いますが、メインにはなって欲しくありません。公共施設削減について、特に保育・学校については、こどもを通わせている、忙しい現役世代の意見を取り入れ尊重して欲しいです。この方々は、町会に関わる人は少なく、議員さんと直接話せる人も限られています。 (4) 又、1 1 / 1 2 の説明会は出席者が現役世代は皆無で、高齢の男性が多く、ついで、高齢女性、唯一の若手が P T A の女性でした。現役世代や若い方がネットで改訂素案を確認してくれるといいですね。もっと区民の皆さまに関心を持って貰い、幅広い年齢層の意見が出し易い環境作りが必要なのかな？と思います。区民の皆様から、この計画のオブザーバーを選んで協力して貰うのはいかがでしょうか？ただし、募集と選出は幅広い年齢層と地域になるように！！私たち区民にと

No	いただいた意見
	って、少子化による大切な公共施設の将来について、みんな働きかければ考えたり、意見を沢山持っているはず。現にご近所の方数人に説明会について話してみましたが、改訂素案について誰も知りませんでした。けれども、貴重な意見を沢山お持ちでした。素敵な住みやすい足立区になるのを夢見ています。
4	(全文公表を希望しない)
5	(1) 質疑応答は1問1答というルールとお聞きしましたが、ほとんど(1名以外)はルールを守っていないようでしたので、もう少しルールを守っていただくようにお伝えしたほうが良いのではないかと思います。ルールはルールですので、一応。
6	(全文公表を希望しない)
7	(1) 施設の面積を見直す前にサービスの質をどうするのかを検討してもらいたい。 (2) 公共施設や道路インフラなどの民間委託、管理委託についても考えてほしい。
8	国立科学博物館が経営難であることは最近話題になりましたが、個人も同じです。施設をスリム化・空きスペースの活用には様々な取り組みがなされている例は他の区において見聞きしていますが、どれもレンタル料が非常に高く、とても支払える額ではありませんでした。十分な財源がない、収入あまり望めない、しかし、それなりに教育的に価値があると思われる施設への貸し出しも考えていただけないか。貸し出しによる収入を期待したいのはわかりますが、考えていただきたい。特殊な例と思いますので、個別相談会の実施、窓口の設置は考えていませんか。
9	(1) 学校の統廃合に関して、まずは子供たちの安全(通学距離、通学路の安全性、スクールバスの導入等)を念頭に計画してほしい。 (2) 避難所として改修する際、医療ケアの必要な方に対応できる設備(簡易的なものでいいので、酸素ボンベ、透析装置)も設置できないでしょうか。
10	現状が人口ピークに近く、その段階で抑制的な説明をされると反発が多くあり、ご苦労なさっていると思います。ですが、人口が減り、お金のない段階になって検討を始めては遅い訳ですので、ぜひ出費の抑制について広く周知される様、広報活動をお進めください。内容については大変納得しました。子供世代のため、持続可能な仕組みをぜひ計画ください。

No	いただいた意見
11	(1) 図書の要望と提案として ア コロナ前は難なく受け付けていた寄贈本の受付をお願いしたい。現在、所蔵が多いという理由で（それもわかるが）、出版年数5年以内の物に限られている（図書館によっては棚が広く空いている所もあるのに）。対策として、棚卸作業時に汚い本や貸し出しの動きのない本の見直しを図る（抜き出した本はリサイクル本として区民へ提供）。同じような内容本がありすぎるのも困る（例：手紙の書き方、作文の書き方等の本）。そもそも、寄贈したいと思っている本は丁寧に扱っているため、きれいな状態（図書館で人気の本は貸し出しが多い為か、くたびれている物多し）。そのような本と寄贈本を差し替える等の対応。 イ 他区に比べ足立区では1人当たりの蔵書冊数も少ないらしい。それもそのはずで、新刊本リクエストを自宅P Cから申請しても、その後の進捗は不明。他区や都立図書館に蔵書がある場合は（本来図書館スタッフの業務なのに）、区民が調べてリクエストとは別に申請しなければならない。区民の手間がかかる図書館システムなのだから、頷ける。こうした点は改善すべきです。 (2) その他 土地に少しのスペースがあると、すぐ区が買い上げてプチテラスとなっている。子どもも少ないなか、足立区では十分な公園、プチテラスも多いと思う。それらはこれ以上いらないから、その予算を老朽化対策の費用に充ててほしい。
12	(1) 「新しい公共施設は建設しない」を撤回してください。区民の健康や幸福のための施設を充実させてください。 (2) 「施設類型ごとの管理に関する基本方針への意見です」 ア 東綾瀬公園温水プールは廃止しないでください。区民が気軽に使える民間開放型温水プールを作ってください。 イ 日光林間学園は廃止せず建て直してください。 ウ 保育園は子どもにとっても親にとっても命綱です。保育の質を維持していく上でも公立保育園はこれ以上減らさないでください。 エ 学童保育室は重要です。増設してください。 オ 行き届いた教育のためにも少人数学級が望ましいです。また、今後大災害が予想される中、学校は地域の避難場所としても重要です。区民の命を守るためにも今ある学校は減らさないでください。
13	(全文公表を希望しない)
14	(1) 学校の統廃合が計画されている件、「児童・生徒が減っている」等の状況が理由ですが、子ども達をとりまく環境はよくなっていません。いじめ、不登校、教職員の過密労働など、少人数教室の規模への早期改善などが急がれます。 (2) 保育園の民間委託への移行の件、これも乳幼児の発達に行政が支えない、民間任せと言えます。 特に(1)(2)について反対を言いたい。

No	いただいた意見
15	(1) 素案は、人口減少・高齢化・施設老朽化を挙げ、区の財政状況に触れ「今後は大きな減収を覚悟せざるを得ない」としている。しかし、人口推移はグラフなどで示しても、「減収」の見通しについては言葉だけで、数字を含めた見通しがかかれていない。何故でしょうか？ (2) 区財政を考える上で、日本の自治体でもトップクラス、1848億円とも言われている「積立金」について何も書いてありません。「区財政が厳しい」と言いながら積立金のことを示さないのは、区財政の真の姿を区民に示していないと思います。どうでしょうか。 (3) 素案は、財政事情中心で削減・民営化中心、と感じます。財政を考えることは必要だが、(私自身も以下に様々な要望を書きますが) 区民の声を集め実現に取り組む、区民の文化向上、福祉、生活などを向上させるという、地方自治体としての大きな視点・役割を果たしていく素案にして頂きたい。 (4) 受益者負担の見直しは、区民の負担増ではなく、負担軽減、無料化の方向にして頂きたい。会議室、練習室、展示室など数が少ない上に、料金が発生し、高くなり、趣味の会や団体などの大きな負担となっています。負担増は、趣味の会などに区民が出かけ、元気になるのを、区が妨げることになります。施設とは別件になるが、区の広報に、私は以前無料で釣りの会の案内を出し、これにより新しい会員が毎年増えました。しかし、1行1000円となり、7行で7000円かかり、掲載できなくなりました。以来、会員がふえていません。是非、区民が元気になるよう、区の施設利用も考えて下さい。 (5) 足立区は69万人もいるのに、他区と比べても2000人規模の文化施設がありません。更に、ピアノがあり、太鼓、楽器などが演奏できる安い料金の練習室が殆どありません。趣味の会の会議、展示、他、他県の施設を借りている会もあります。是非、施設を沢山作り、充実させて下さい。面積を拡げない、という方針も再検討して下さい。 (6) 施設など駅の近くを重点に、と言いますが、2つ問題があります。六月地域に知人がいますが、「ここは陸の孤島。竹の塚や西新井に出るバスもない」と言っています。区が責任を持ってバス路線など拡充して下さい。また、足立区自身が「高齢化人口増」と言っています。それなら、高齢者がすぐ行ける、集まれる場所や集会所などを、駅近くだけで無く、各地域に増設して下さい。高齢者を元気にさせて下さい。 (7) 小学校を69校から60校に、中学校を35校から29校に統廃合することは止めて下さい。現在、学校教育は教職員の多忙化、病欠、欠員、児童生徒の不登校など大きな問題があります。小規模校が児童生徒を支えている面が大きいと教育界でも最近言われています。統廃合は学校教育の問題解決に逆行します。更に、学校は災害時の避難所の役割、地域住民の拠り所でもあります。統廃合しないで下さい。駅に近い学校は廃校にして、民間運営の何らかの建物を想定しているような気がします。学校教育は、目先の財政事情ではなく、足立区の将来を支える区民を育てます。統廃合を止めて下さい。新田学園の狭さ、校庭もない状況。これをこのままにはいけないと思いますが、どうでしょうか。 (8) 公立保育園30園を19園にする。その19園でさえ、民営化することは止めて下さい。元の公立30園、いやそれ以

No	いただいた意見
	上に公設公営の保育園を増やして下さい。既に、公立保育園を民営化したら、その保育園が潰れた。更に、民営化したら、園庭の一部を駐車場に貸し出した、などの例が足立区で起きているのではないですか？民間会社は採算を重視します。それよりも、将来の足立区を支える子ども達を、足立区が責任を持って公設公営の保育所を増やして下さい。 (9) 学童保育室を公設公営で増やして下さい。以前は資格を持った指導員が学童で働き、様々な体験や行事など行い、子ども達は成長しました、しかし、今は居場所ではあるが、専門の指導員による学童保育室の運営がなされていない、と感じます。学校でのキッズもそう感じます。専門の指導員を雇い、学童保育の充実を願います。 (10) 特養老人ホームの民設民営は止めて下さい。公設公営をお願いします。事業不振の中で、介護業者は次々潰れていきます。不安定です。区が責任を持って特養の公設公営をお願いします。私の義母は、他区でしたが、民間施設を次々回されました。中には面倒見ないところもあり、床ずれが激しくなりました。区の特養に入ったら、床ずれも治りました。また、私たちの介護保険料。足立区は都の中でもトップクラスで高い状況です。しかし、介護に関わるお金を、都や国に返しています。このような状況で、財政事情だ、民設民営だと言われても、納得できません。 (11) 公園などにトイレを設置して下さい。足立区は200m離れた場所に設置する方針で、これ以内の所は今迄あったトイレも潰しました。結果、200m以上歩いても、トイレが無く、高齢者が外出を控えています。私自身がそうです。竹ノ塚駅に出るときも不安です。また、西伊興のバス停にトイレが無く、住区センターに駆け込んで借りたこともあります。正式な開館時刻前なので、会館の方から怒られました。トイレ設置をお願いします。 (12) 以上ですが、充分検討して、回答をお願いします。区民の声を充分聞く、反映する、区民が元気になる区政を要望します。それが「お金」だけでは計れない、区民の元気を生み出す元になると思います。 (13) この件についてのパブコメも、他の物と同様の手続きで行っていると思います。区としては、それで「問題ない」と考えていると思います。しかし、区の素案は、今後の足立区の有り様を決めてしまうような重大な内容が含まれています。区が、このような素案を持っていること、どんな良い点・問題があるのか、そしてパブコメを実施していることすら多くの区民は知りません。区の広報に素案の概要掲載、パブコメ募集中など含め、区民に十分知らせ、区民が考える時間をとる、区に意見などを言えるようにする事こそ区がやらなければならない事だと思います。それが区行政の本来の在り方だと思います。区民への十分な周知をしてください。 (14) パブコメなどにより総合管理計画が決まっていくのですか？ 私は、更に区議会での十分な審議、審議経過を区民に充分伝えること、そして、十分な時間、十分な期間をとって、区民が考え、理解して決めていくことが必要だと思います。どうでしょうか？

No	いただいた意見
16	(1) 40年後には約8万人、11%減少する人口に合わせて、公共施設の規模も現在と比べて約13.5万m²、11%減らしていくことを考えています。→11%減少だから面積も11%減少、と安易に考えるのではなく、どこを減らせばいかにコストを削減できるか、どこは減らしてもコスト削減にあまり関係ないかを吟味してほしい。 (2) 本庁舎の年間経費9.1億 けっこうな金額なのでこれこそ削減できないのかなと思いました。 (3) 「PFI等の官民連携手法の検討」とのことですが、民営化を安易にしないでください。杉並区町の岸本さんの本にも書いてますが、民営化によって一時的にコスト削減ができますが、長い目で見ると必ずしもそうでないこともあります。なので、民営化を検討する場合は慎重に検討してください。
17	(1) 施設類型ごとの管理に関する方針への意見です。 ア 学校は地域のコミュニティの拠点で、災害時等の大事な避難場所です。子どもたちへの行き届いた教育のためにも減らさないでください。卒業したら母校がなくなっていて悲しいと思わせることはしないでください。 イ 地域学習センター、区民が利用したいと願っても、借りることが争奪戦でなかなか利用できません。「集約化」と称して減らすことはしないでください。 ウ 学童保育室と放課後子ども教室の役割は違うのに、一体化するのは子どもと子どもの家庭状況をつかんでいないで考えるからではないでしょうか。一体化はしないで増設してください。 (2) 区の施設や土地は区民の財産です。売却はしないで有効活用してください。
18	(1) 足立区には緑が少ない、公園も少ない、ちょっとすわりたいベンチも少なくて困っています。 (2) 竹の塚第五公園はそのまま残してほしい。 (3) これまでに貯め込んだ資金は区民の要望を生かすように使ってください。
19	(1) 小学校・中学校減らすのに反対です。日本は自然災害（大洪水、停電、地震）などいつ起きかわからない状況の中で、避難や災害のとき学校の施設は必要だと考えます（避難場所）。住民の命をどう守るかは自治体ではどう考えているのでしょうか。今年1月に起こった石川県能登の震災を見ると、体育館や学校での避難した人達が、食べるものも、暖もない、水も、トイレも毛布も布団も足りない不足する状況を見ると命を守る政治を望みたい。 (2) いま足立区には音楽やギャラリーに使える施設が少なすぎるので困っています。いろんな（他区）所へ出かけていますが。葛飾シンフォニーホールの様な施設をつくってほしいです。
20	(1) 人口はこの先10年間は増えるので、それに合わせて保育園、高齢者施設、小中学校、集会施設、公園などや公共ホールなど用意してください。住民の福祉のために、私達が50年以上払ってきた税金を有効活用してください。一定の企業や会社の利益のために使わないでください。区政の原点に立ってください。

No	いただいた意見
	(2) 区民のウェルビーイング（幸福度）向上の視点にたって、民間事業者の力を区民サービスの充実や向上のために生かしてください。 (3) 土地や建物（区）は区民の財産ですので、安易に公設民営とか民設民営などといって、民間企業や株式会社に売却しないでください。利益がなければ撤退してしまう現実をみて、これは区民サービスにならないと思います。 (4) 区財政は1800億円以上の基金残高があり、今迄区民が払い続けた税金ですので、区民の願いをかなえる施設・・・例えば区民ホール・学習センター・小中学校・学童施設・青年館・高齢者施設・区営住宅や公園などのために使ってください。既存の温水プールなど運動施設も要望が多いので内容を充実させ、豊かにしてください。雇用も多くなり文化的にも高くなります。「新しい公共施設は建設しない」といわれたら、区民は願いを無視されたと思い、ウェルビーイングから遠のきます。 (5) 今迄も小・中学校の統廃合が行われ、予想に反して人数が多くなり教室が足りないとか運動場が足りなくて廊下でかけっこをしているなどの問題があり、また遠くなったので通学が大変で危険な個所があり、様々な子ども達の要望に答えられず、学級が混乱しているなどますます学力向上の要求、体力向上の実現にこたえられないような現状が起きています。 (6) また、不登校も年々増え個別の子ども達の要望をかなえるためには、どうしても少人数学級が大切です。統廃合をせず、欧米なみに20人学級にしてください。そうしたら足立区の教育は向上し、人気が出てきて、子ども達にも明るい笑顔がもどり、ウェルビーイング向上に役立ちます。統廃合しないでください。 (7) 働く女性が増え、保育園はますます必要になってきます。また、団塊世代が高齢化して高齢者施設は不足します。必ず施設を増やし、内容も充実させてください。 (8) 学童保育も資格のある人を中心に研修を重ね、よりよい学童保育にしてください。 (9) 中・高・大学生のための施設を作ってください。 (10) 防音設備のある、ピアノなど音楽を楽しみたい人達の施設を何十か所も作ってください。 (11) 場所とりにならないよう、区民が人生を楽しめるよう区政は考えてください。 (12) スポーツを楽しみたい人も大勢いますので、スポーツ施設の設置場所を保障してください。
21	国の財政制度審議会が公表した2025年度予算編成に向けた建議は、医療・介護・生活保護・大学の運営交付金・大学の「統合」「撤退」・教員の長時間労働に伴う財源等、社会保障改悪フルコースだ。今回の区の公共施設等の統合計画も区民の願い実現ではなく、区財政論が主な理由になっている。反対です。国に意見を上げてください。
22	(1) 東和センターのふれあい祭りが11月に行われた。そこでは太極拳・フラダンス・チアダンス・卓球・バドミントン・囲碁・将棋や書道・写真・絵画展など多彩な催しが行われた。普段、センターを利用している人たちの祭りである。そこ

No	いただいた意見
	では地域住民が生き生きと活動している。地域の人たちのつながりや、健康増進にもつながっている。近くに利用しやすい施設があるからである。これを統廃合するなんてとんでもない。反対である。 (2) 40年後の人口減少(?)に対応するのではなく、現在住んでいる住民の福祉向上をめざすべきです。今回の足立区公共施設等総合管理計画(令和6年度改訂)素案に反対します。
23	(1) しんぶん赤旗を読みましたが、財源があるのに実際より意図的に小さく見せているのは良くないと思います。 (2) さまざまな施設を縮小する中公共喫煙所はなぜ増やすのでしょうか？増やさなくていいと思います。
24	将来的な人口減を理由に、人口増が続いている中で、公共施設を減らす計画は、道理に合わず、むしろ、今から公共施設を減らすことが、区民人口の減少に拍車をかけることになるのではないかと、大いに危惧される。全国自治体第4位となる1,858億円もの積立金を活用すれば、区民に役立つ公共施設の増設が可能であり、少しでも人口減に歯止めをかけるような施設建設を推進することが、本来あるべき区政ではないのか。今ある公共施設を減らすといった、本末転倒な施策を止めるよう、一足立区民として、強く要望するものである。
25	(1) まず、最初に思うことは、区は足立区の基金が1848億円もあるのに、どうしてその私たちのお金が私たちの生活に活かされていないのかという疑問です。一番は子どもにお金をかけてほしいと思います。 (2) 学校の統廃合には反対です。不登校の生徒が増えている現状の中で、少人数の学級運営は絶対に必要条件です。現在孫が通っている小学校は各学年2学級ですが、先生方は子どもたちの名前を学年に関係なく覚え、いつでも声掛けします。子どもたちも行事を通して交流が深まり、いじめは聞いたことがありません。子供たちが通う通学地域も適切に決められているため無理なく通えています。それが統廃合をされた小学校を見ると、広範囲から学校に通わなくてはならず、性犯罪が増えている世の中で、登下校の距離は不安でしかありません。また統合された生徒の人数に比べて校庭が狭すぎて十分な活動ができていないようです。小学校は1学級か2学級でも存続すべきで、そのために私たちの税金を使ってほしいとおもいます。北欧の学校を見学しましたが、1クラス20人以下でさらに先生方の目が行き届き羨ましいかぎりです。また住民の声が政治を動かしていて、1学級で人数が少ないと言って廃止したりしません。どうして予算が大きい国で子どもを大切にできるのか？やはり税金の使い方ではないのでしょうか。また、東京都は他県より先生の人数が多いと聞きますが、それでも先生が急に休んでしまい、代わりの先生が見つからず、困っているという話をよく聞きます。先生の人数を区としても強力なバックアップをしてほしいです。 (3) それから、それぞれの地域に学校がある必要があります。一番は災害です。避難先が遠いと体の不自由な老人、障がい者など避難できません。各家庭で備蓄をと区は言っていますが、こんな物価高の中で、家も狭いのにも備蓄する場所もお金もありません。避難した場所で区民を救うのは区の責任ではありませんか。そのために区の基金を活用してください。

No	いただいた意見
	(4) 現在北綾瀬駅前とか北千住駅前に開発されようとしている計画があるようですが、それらに区の税金を使うのは反対です。それよりももっと保育園や特別養護老人ホームや区民が運動したり、学習したりできる施設を充実し増やしてください。私たちの子どもが通っていた保育園に今孫が通っています。保育園に入れただけ、幸運ですが、施設が40年も前の古い施設を使っていること自体驚きです。先日も足立区の小学校の天井のコンクリートが落ちる事件がありましたね。将来を担う子供たちが安全に楽しく生活できる環境を整えるのは最低限の区の仕事だと思います。 (5) 現在の施設を縮小したり、統合したり、廃止しせずに、必要な施設はつくり、充実させてください。 (6) 民間事業者の活用はいいですが、区の土地や財産を損なう計画はやめてください。まだまだ伝えたい思いはたくさんありますが、どうか区民の意見を十分に汲み取って、計画の立案と実施をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
26	足立区の人口はまだ増える状況ですね。基金は全国的にも多いと聞いています。学校は災害などの避難所にもなっています。歩いて行けることが大切です。住区センターや図書館なども同じだと思います。なるべく維持していただくことと、その施設をなくすことではなく、区民のために活用する方向で考えてほしいと思います。足立区は住みやすいと思えるような計画をお願いします。
27	(1) 人口は10年間増えるのに、40年後に人口減となるからといって「人口減少」を強調してこんな計画をたてるよりも、少子高齢化社会にむきあい、区民サービスを考える足立区であるべきだと思う。 (2) 学校など区の施設は公共のものであり、区民の財産です。いくら区長、区議会であっても区民一人ひとりの声で新しい区政を進めるべきです。 (3) 足立区の基金のつみたては、全国4位、1858億円といわれています。物価高騰のおり、子どもたちの修学旅行費用、学用品などは、予算があるのですから、無料にしてほしいです。 (4) 区民に生活支援金を出すべきです。強く要望します。やるべきことはたくさんあります。自殺者もでているのですよ。 (5) 介護、国保など保険料を下げてください。 (6) 公共交通を確立することは区の責任で行うべきです。
28	人口が減ると考えているとの事ですが、これからどう増やすかを考えた方が良い方向に向くと思います。
29	まだまだ不便な所も多いので、建物や土地は有効活用して下さい。
30	中学校合併の件ですが、まずは選択制になってから悪循環が出来たような気がします。人数が少なくなると、クラス替えが出来なくなる、団体競技の部活動が出来なくなる。それにより他の学校に流れる。で少ない人数になる、の繰り返しが起きていると思います。義務教育ですので、学区内の学校に行ってもらい、本当の地域密着の出来る子供達を育てたい気持ちがあり

No	いただいた意見
	ます。私は今でも1番繋がりがあるのは中学校の同級生です。一度選択制を無くして様子をみてから考えてはどうでしょうか？少し地域性も変わってくるかもしれません。花畑地区に関しては、築年数や立地場所等ふまえると、花畑北中学校を使い続けたほうが良いと思います。
31	(1) 足立区の基金はかなり多いと聞きます。住民にとって大事な区民施設は減らさないでください。「新しい公共施設は建設しない」を撤回してください。 (2) 図書館をもっと増やしてください。
32	(1) 人口減少を強調して区の公共施設を減らすことには反対です。逆に今ある施設をさらに使いやすくしたり、老朽化した施設の改築や修理を充実して下さい。 (2) 特に子ども達の安全を確保する上でも、老朽化した公立保育園の改修を早急にすすめて下さい。同時に保育実績の豊富な公立保育園の民営化はストップしてください。
33	私は花畑在住のタクシー運転手です。竹の塚第五公園は、竹の塚駅周辺部を車で一回りするとこの公園以外は建物だらけだと、実感いたします。公園が、団地建物の移転先として廃止されるのはこの区域を徒歩で移動する人にとっては建物だらけの中を延々と歩き続ける窮状になることが明白でありますので、公園の整備と存続を希望します。
34	(全文公表を希望しない)
35	私は子供と孫をあわせて4人を足立区立保育園に預かって頂き安心して働くことができました。本当にありがとうございました。保育士の方は研鑽を重ね、子供だけでなく送迎する私達までも育てて下さいました。利益を考えなくてはいけない民間ではできないことです。日本の少子化は危機的状況です。安心して子供を産んで頂くためにも区立保育園はせめて現状を維持してください。区立保育園の充実こそ少子化対策の要です。元気な子供たちの声を聞くと幸せになります。行政の役割として是非よろしくお願い致します。
36	3年後に足立区の人口が7.7万人も減るといふのならまだ分かりますが、40年も先のことなのに施設面積を減らすといふのはおかしいです。区民の皆さんが生き生きと楽しく過ごせるように施設は必要だと思います。区の基金は充分あるのだからそういう所にお金を使ってほしいです。数年前にテレビの番組で足立区では子育てがしやすい町だからと若い世代の人達が大勢移住して来たと紹介をしていました。住んで本当に楽しい町だとそう思えるような区政をして下さるよう切にお願いを致します。
37	「新しい公共施設は建設しない」を撤回してください。地方自治は、その住民の生活と権利を守ることが重要です。今後、必要な公共施設が生じてくることは充分考えられます。それを今から建設しないと宣言するのは、乱暴です。道路より、区民の切実な願いを叶えてください。

No	いただいた意見
38	(全文公表を希望しない)
39	(全文公表を希望しない)
40	「新しい公共施設は建設しない」を撤回してください。図書館を増やして欲しいという要望もあるのに、これは納得できません。
41	(1) 学校はこれ以上減らさないでください。子どもの人数だけの視点でなく学校は住民の避難所でもあり、学童保育室でもある。住民からすれば近くにある学校の空き室を、介護利用、ランチ提供、赤ちゃんママのおしゃべり場等、住民の声をきき、積極的に活用してもらいたい。 (2) お金がかかるからといって何でも民間に丸投げしてしまうことはやめてほしい。人間が生きていく上で最低限保障しなければならない事は公共の足立区でやるべきである。民間は、利益がでないとすぐ撤退してしまう。保育所、バス路線、福祉事業、病院等々。 (3) 今年、不登校生が34万人とのことで、足立区は不登校生は何人ですか。公園はボール投げ禁止が多い、地域で子どもがのびのびスポーツや遊べる場所をもっと作って(自転車公園、ボール遊び公園、スケボー公園等々)
42	(1) 区の目指す公共施設の将来像を考えるにあたって、足立区の人口推計で40年後に11万人減少するから、公共施設の規模も11%減らすということが前提になっているのは問題だと思います。40年後の社会経済状況の変化は推計どおりに行くとは限りません。令和18年まで増加がつづくということと、その後の減少を極端に位置づけた説明だと思います。 (2) 保育園や学校を減らす計画も、少子化に歯止めをかけられない行政の姿をさらけだしているにすぎません。学校統廃合が真っ先にすすめられた千住地域では、地域のコミュニティの拠点がなくなり、選挙の投票所も遠くなった地域があります。 (3) 「新しい公共施設は建設しない」としていますが、高齢者にとっては身近で利用できる場所こそ必要です。気軽に借りられる施設をもっと作って欲しいと思います。ですから、区民事務所や住区センターなどを減らすことは納得できません。 (4) 区の財政が厳しいから、施設の維持管理費をまかなうことが困難といいますが、区の基金は予想以上に多いと聞きました。お金の使い方を再検討して、区民の利用できる施設を増やしてください。
43	高齢者のための施設を増やしてください。
44	公立保育園が減られ、民間の保育園が増えています。園庭もなく、乳児が公園にいつて少しあそんで帰るという情景をよく見かけます。乳児は、探索活動を十分に、あそびを保障してあげる時期です。夕方は居場所がなくて、あちこち散歩車でまわったり、ただ歩いているという姿も多いように思います。保育内容の充実の視点からも公立保育園はなくせずに、すこやかな子ども達の育ちを保障してあげてください。

No	いただいた意見
45	(1) 今回の「公共施設等総合管理計画」は大変問題があると考えます。まず人口が減るという前提にたっていること、そのような予測があるのなら行政は減らない努力をするべきです。 (2) 現在は、子供を生んで育てることが大変になっています。皆が子供を生み育てるためには、保育園は区で運営し、増やし、親が安心して預けられるようにすることが必要です。 (3) 学校も統廃合するのではなく、現状のまま少人数学級にすることが、いじめや不登校等の問題解決の一助となると考えます。 (4) 又、私を含め高齢者には歩いて行ける公共施設が、生活していく上で不可欠です。そのことで人と交流や、運動の機会を増やし、フレイルや認知症等の対策となり、医療費の低下等の効果があると思います。
46	(1) 公共施設等の維持、更新等にかかる財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することを目的としていますが、それを行うことで、区民が望む本来のサービスに沿わないことが生じないか危惧します。公共施設の充実、区が行うべき、住民への最大・最優先の行政ではないでしょうか。それに掛かる財政を、減らす方向で計画をたてることは本末転倒です。 (2) 将来的な生産年齢人口の減に伴う特別区税の減少や、景気動向に左右される財政調整交付金の減少の可能性などを考慮すると、今後は大きな減収も覚悟せざるを得ません。現在の状況から、日本全体の少子高齢化は否定できないと思いますが、一極集中の傾向から、大都市の人口が大きく減ることはないのでは？足立区は首都東京23区の1区、行政のやり方次第で逆に人口が増えることもあるのでは？高齢者が暮らしやすく、若者に魅力的な施策をおこなうことが優先順位ではないだろうか。そのための街づくりとして、幅広く、きめの細かい公共施設施策が行われるべきではないだろうか。 (3) 公共施設にかかる1年間の維持管理費は87.5億円、今後の公共施設等の更新に40年間で約7,773億円が必要、今後のインフラ施設の更新等に40年間で約3,233億円が必要。ざっと年間280億円の経費。上記の数字は、現在の観測点からの予測数字。人口69万人が増えるか減るかは、税収が増えるか減るかは、国や自治体の政策にかかっている。公共施設参入の一部企業の利益・効率優先ではなく、市民を幸福にさせることが公にやるべき仕事です。 (4) パブリックコメントの募集期間は1ヶ月では短すぎる。幅広く、区民からの声を参考にするのであれば、最低でも半年は必要。 (5) 以下、具体的な要望を述べます。①私が利用する、竹ノ塚六月住区センターは1階のみで、古くて、狭いので、楽器演奏もできない。近場に気軽に利用できる多用途の住区センターを新設してほしい。(若者の文化的要求に音楽は欠かせない) (6) ②西新井ギャラクシティの施設利用は満室が多くて予約困難。(音楽室など) 楽器持ち込みに車を利用した場合、駐車場も満車、利用料金も高い。

No	いただいた意見
	(7) ③小学校、中学校などの既存の施設を、多用途に、土日に開放して欲しい。 (8) ④散歩や用事で尿意をもよおすことがあるが、以前あった公園施設のトイレが撤去されたので、大変困る。公園施設にはトイレを復旧・増設して欲しい。
47	まず、区政というものは区民サービスを最優先させるべきと考えます。図書館の増設ナシ→とんでもない。保育園、小中学校をへらすことは認められない、学校統廃合をすすめてきたこともナンセンス、定数(クラスの人数)をへらし教育の充実をはかることこそ必要と思われます。
48	(1) 公共施設の更新費用の見込み額、労働人口減少に伴う歳入減から、現在の規模で公共施設を維持するのが難しいことが、本素案からよく分かりました。小・中学校は区保有施設の面積の61%を占めていますから、児童だけではなく地域住民に広く還元できる施設であることが理想です。学校の複合化には大賛成です。地域によっては、住区センターや区民事務所等の公共施設をすべて学校に一元化することも可能かと思ひます。また、駅に近い等、交通利便性の高い学校には、図書受け渡しコーナーを設けたり、住民貸出もできる大型体育館を兼用で設置するなど、効果的な複合化ができれば、より広い範囲の住民にサービスを還元することも可能かと考えます。(例 千寿本町小学校 温水プールスイミー) (2) コストバランスが最重要なのは承知ですが、公共施設を減らすだけでなく、最適化して豊かさを導くような複合化・再配置も検討していただきたく思ひます。 (3) 公共施設の統廃合、複合化について真剣に考えることは、痛みは伴いますが、最終的には子どもたちの未来と資産を守ることにつながります。令和5年から新たに設置された〔公共施設マネジメント担当課〕のこれからの取り組みに、一区民として大きな期待を寄せております。困難な道のりだと思ひますが、どうぞよろしくお願ひいたします。
49	(1) 子どもの数が減る中、施設を多目的に建て替えると聞きました。①教育の場に大人がまじあうことの危険性を考慮してほしい(犯罪者が現れないか)。 (2) ②文化面の充実を希望します。コンサートのできる会場を多く作る(音響のよい部屋がほしい)。 (3) ③緑地のある公園や図書館のある施設、運動のできる建物(興本図書館は周りが住宅地ですが良い環境だと思う)。 (4) ④足立区の環状七号線の近い場所(沿って)モノレールを東から西へ通したら移動が楽になると思う(佐野～舎人、大谷田～鹿浜)。
50	(1) 東町住区センターを利用しているものです。何年か前までは無料で借りられていたのに、いつの間にかお金を払う様になっています。年金生活者としては、少しでも安くなれば助かります。 (2) そろそろ介護施設、老人ホームを考える年になりました。年金で入れる施設を作って下さい。
51	(全文公表を希望しない)

No	いただいた意見
52	(1) 地方自治体のやるべき事は住民の福祉向上と健康増進です。40年後に人口が77,000人減るから機械的に区施設を削減する事は納得出来ません。しかも足立区の基金は1848億円あると聞いてます。 (2) 「新しい公共施設は建設しない」を撤回してください。区民の切実な願いをかなえる施設を増やしてください。 (3) 西新井本町住区センターを江北保健センター跡地に新たに建替えてください。そして西新井本町住区センター跡地は高野公園を広げてください。
53	(1) 保塚住区センターは素晴らしいですよ。マッサージ、本もたくさんある。竹の塚住区センターと六月住区センターを別にして広くしてほしいです。料金を安くか、無料にしてください。 (2) 学校が閉校になったら文化的な方面に活用して生かす、避難時に役立つと思います。
54	今回の足立区公共施設等総合管理計画【令和6年度改訂】に全面的に賛同します。今後の人口減少、少子高齢化社会に、現在ある全ての公共施設に税金を投入し、無理に残すことは費用負担及び将来的な修繕の足かせとなり、負の遺産となりかねません。これからの公共施設はできうる限り複合化をさせつつ、多くの区民がアクセスしやすい駅近の施設にしぼりこみ、存続させていくことが大事と考えます。
55	学校統廃合（学校をへらす）について (1) こどもたちにとって教育条件の低下につながるとともに、統廃合による課題があると思います。少人数学級や個に応じた指導に対応していくためにも教室数は学校はこれからも必要と考えます。小さな学校ならではの良さもあるのではないのでしょうか。 (2) どこの学校が統合になるかなどが明らかにされないまま「減らす」ことのみ先に計画されることに違和感があり、地域と学校とのつながりの面でも課題があるのではないかと考えます。 (3) 学校は子どもにとってだけでなく、地域にとっても避難場所や投票所などとして身近な場所であり、なくなってしまう学校があるのは困る人たちがいるのではないのでしょうか。 学校の統廃合や公共施設の削減でなく、子どもたちが平等に教育が受けられるような学校や施設の充実・存続をのぞみます。
56	私は小中学校の数を減らす計画に反対です。私は中学校の教員ですが、語弊を恐れずに申し上げますと現代の教育は破綻の一途を辿っているように感じています。 スマートフォンなどのICT機器の普及により子どもたちは対人コミュニケーション能力、集中力が低下するとともに気持ちを推しはかる力、我慢する力もかなり低下している印象を受けます。お互いの気持ちを想像できずに発生する児童生徒のトラブルが以前より確実に増えています。 そのような安心できない学習環境のなかでは、学力は伸びないでしょう。また、トラブルの当事者だけでなく、トラブルを

No	いただいた意見
	解決しようとしたり、前向きにがんばろうしている子どもたちの成長や人格の形成にも悪影響が出ると思います。 少人数学級、または複数の教員によるひとつの学級の経営が実現すれば子どもたちは確実に育ちます。例えば小学校において、ひとつの学級に複数の教員がつくことができれば、トラブル対応とともにその他の児童の対応を同時進行で、きめ細やかにできるため、小学生のうちにSSTがかなりできると思います。子どもたちがソーシャルスキルを身につけることは、安心して学習できる環境にいい影響を与えたいと思います。 足立区の子どもたちのために少人数学級、手厚い支援体制を実現してほしいと願っています。その実現のためには学校数を減らさないことは有益であることは明白です。将来の子どもたちのために学校数の削減方針は撤回してほしいです。 また、どこの学校を統合するかを明確にしていない点がこの計画のアンフェアな点だと思います。地域住民の声を聞かずして、統合を推し進めようとしたら、トラブルが多くなり、区政への信頼が下がるリスクがあります。現在、規模が小さくなっている学校は学校選択制によるものが大きいです。学校選択制を撤廃して、行政や教員がどこの学校でもよい教育ができるような環境整備に努めれば、自分が住んでいる地域から通いやすい距離で安心して学校生活を送れると思います。また、学校選択制は入りたい部活動の有無が選択の基準になることもあります。部活動の地域移行化にお金をかけることが学校選択制撤廃の大きな理由の1つになり得ると思います。 どうか教育を軽視するように感じられる学校数削減の計画を見直してほしいと願っています。
57	安心して、楽しく過ごせる後期高齢者施設を設置してください。
58	(1) 足立区の基金は予想以上に多く、1848億円ときいています。その中で、小学校の統廃合は、子どもを無視し、つぎつぎ強行されました。高野小の跡地は避難場所にも利用できない施設となります。地元住民の声を聞いていません。 (2) この管理計画は、特別養護老人ホームはさらに必要です。民設民営にするという事に反対です。年寄は早く死ねとでも言うのでしょうか。足立区は区民の目線で物事を考えられないのでしょうか。必要なお金は必要な所に使う、区民のために使う事を心がけていただきたい。 (3) 私の住む近くには、図書館がなく、自転車で15分位かかり、利用したくても利用できない。図書館をふやしてほしい。高齢者になれば利用が多くなります。 (4) 災害備蓄倉庫は減らさないでほしい。災害時利用しにくくなります。足立区は区民の目線に立って再検討をお願いします。
59	パブリックコメントを送ります。素案とはいえものすごく分厚いもので驚いています。説明会に出た人が次のようにまとめてくれました。 素案やその説明会では、「今後の人口減少・区の財源不足、公共施設の5割が築40年以上の老朽化」など述べた上で、「現在同様の施設規模を維持することは、効率的でない。良質な施設環境を維持する経費捻出は困難。この考え方が本計画の肝」

No	いただいた意見
	としています。そして、「公共施設総量の最適化、委託の試行、コスト削減」「施設の集約化、廃止を調整。官民連携導入、受益者負担の適正化」「小中学校の統合、拠点園以外の保育園の閉園・民営化。特養老人ホームは民設民営」「公共施設は主に駅の周辺」「新しい公共施設は原則建てない。作る場合は同規模の施設を廃止」などとなっています。 以下観想的コメントをいくつか記します。 (1) この素案は、要は「金がないから今後諸施設の改善、新設は出来ない」という事を区民に知らせるものとなっている。民営化とは区政放棄だと思う。 (2) この素案を書いたのは、みな区役所で給料をもらっている人だと思うが、区民、区政に対する愛情を感じられない。あなた方は何のために働いているのか改めて問いたい。諸困難はどこ自治体でもかかえており、それを住民とのりこえてゆくのが自治体職員の仕事ではないのかと言いたい。 (3) 区財政には全国で4番目と言われる1846億円の積み立て金があるのに、これは何のための金なのか明らかにしてもらいたい。 (4) 区政をどう改善していくのか、努力方向を示せない計画では、区民は納得できないのです。区長、区議はそれを示す責任があると思う。この素案を読んだ時に「これじゃお先真っ暗」という印象をもった。この素案を書いた担当部局は単なる会計担当部局なのか。自治体職員としての任務をどう考えているのか。区民に展望を与えられないのであれば、辞めてもらうしかないのではないのか。
60	(1) 公共施設のコミュニティールーム又は会議室を無料にしてください。 (2) 介護保険料が高過ぎます。健康寿命の増進に力を入れて安くして下さい。筋トレ料（武道館）なども異常に高過ぎです。 (3) リチウム電池も回収して下さい。
61	現在でも、区の公共施設は不足しています。私は教員を退職し、足立の退職教職員階に入り、年1回の作品展で作品を発表しています。今年で13回目になります。以前は梅島のLソフィアを会場にしていたが、改装に伴い、借りることができなくなりました。その後区内で捜しましたが、見つからず、草加の会場で作品展をしています。区内での施設を希望しています。
62	結婚して足立区に住んで50余年、後期高齢者の仲間入りをしました。子育て時代は、区立保育園・学童保育に入ることができ、安心して共働きすることができました。近くの図書館から毎週のように絵本を借りて沢山の本に親しむことができました。それから50年たって、新たな要求が沢山あります。 (1) 近くの友だちも、皆高齢者の仲間入りをし、腰痛・膝痛等で買い物や移動がままならない人が多くなりました。バスの減便・廃止はとても困ります。バスは公の足です。バス会社が赤字なら区から支援はできないでしょうか。

No	いただいた意見
	(2) 図書館がへると聞きました。年金生活者にとって本一冊買うと一日分の食費が消えます。生活圏にある図書館をなくさないで下さい。 (3) 区内の知人(複数の方)が、孤独死をしました。一人暮らしの高齢者が私のまわりには沢山います。家にこもらないで気軽に集える場所があったらと強く思います。その拠点と考えていた住区センターも整理されると聞いて驚いています。なくさないで下さい。 (4) すいすいランドも、高齢者の友だちが沢山利用しています。これも消えると聞いて驚いています。寝たきり老人をつくらないためにも残してください。
63	「施設類型ごとの管理に関する基本方針への意見です」 (1) 地域学習センター 区民が使いたい時に使える部屋が少ない。争奪戦になっています。月に一度のサークルの集まりなど予約するのも大変です。減らさないでください。 (2) 区民事務所を減らさないでください。高齢者が利用するのに不便になります。
64	(全文公表を希望しない)
65	人口が増えたり減ったりすることは自然にまかせ、増えたからと学級数など最小限ふやし、減るといって学校の数まで減らすのでは場当たり的ではないでしょうか。増えるのは、子どもが生まれるのではなく、高層マンションなどを増やして人口が流入してくるからです。税収は増えるのでしょうか。人口が減るのは、若い人が給料が少なく結婚できないとか、子どもをつくれな、子育ての大変さが目に見えているなど、将来への期待が持てないからではないでしょうか。足立区だけの問題ではないですが、少なくとも、足立区はこう考えている、というような前向きな施策が欲しいです。たとえば、人口が少なくなったら、学校や保育園の1人当たりの面積を広くする、集会所は飲食可など使いやすくする、保育園は民営化ばかり進めるのではなく、めざせ公立保育園となるよう、正規の保育士、庭や給食室など完備した施設、保育内容や運営など、充実してほしいです。
66	(1) 東綾瀬温水プールを廃止しないで下さい。高齢者はプールの中で歩くので介護予防になります。又、夫は夏休みに遊びに来た孫に水泳を教えていました。普段別居している家族との交流にも役立ちます。 (2) 保育園は株式会社でなく公立か社会福祉法人にして下さい。介護もそうですが、採算がとれないとやめてしまい、利用者は困ります。 (3) 学校統廃合は地域のつながりをこわすことになると思います。地域の小中学校に通うことによって近所同士仲良く助け合う関係ができます。(不明) P T Aの役員をやってきた経験からいえます。又、避難所にもなりますが、遠かったら行かれません。

No	いただいた意見
	(4) 日光、鋸南は、一般にも使用できたので、日本語ボランティアを20年やりましたが(不明)をつれていって大変喜ばれました。安く利用できるのも有難いです。
67	(1) ますます、高齢化が進む現状なのに区の施設を縮小することで、高齢者が施設を利用するために場所が遠距離になる可能性があります。と思います。 (2) これから、車の保有台数が減少していく時代になるのに大型道路を建設するより他に区民のためになる公共施設を建設して下さい。 (3) もしも、万が一区民施設を減らすことになるのならば、施設のある場所の地元の住民の意見を十分に聞いてもらいたいと思います。
68	(全文公表を希望しない)
69	概要の部分は、□で囲んであります。勝手に削らないでください。 □で括った部分が私のコメントです。公表してください。 公共施設等総合計画 国の総務省が発信元。その前提は次のようにまとめられている 前提 a) 公共施設の老朽化が進行している。 P. 8 耐用年数の現在と今後は事実を記述しているからこの事実は理解できる b) 全国的に厳しい財政状況がある ★『説明会資料』の論理展開の骨組みを模式的に表すと ①少子高齢化 人口減少が予 → ②40年後に1 1%約7.7万 人減る。P12 → ③従って人口 比例で施設を 減らす。P12 → ④剰余金(基金) を毎年200億 円積み増す 骨組みが非常に短絡的で。①から④を導き出すのは非常に乱暴である 『管理計画資料』の主要部は次のように読み取れる 第1～第8章 <code>sashikaesougoukanrikeikaku.pdf</code> 第9～第12章 <code>sougoukanrikeikaku2.pdf</code> 公共施設等にかかる経費の中長期的な見込み p. 21 図1-16 40年間で1兆1006億円。平均で275億円/年となっている

No	いただいた意見
	p。23 図1-17 2040年まで50～300億円（平均170億円）内、学校比率約50% 2040～2050年50～200億円（平均125億円）内、学校比率30% 2050～2064年150～300億円（平均225億円）内、学校比率70% つまり、学校の更新費用が約半分である。 ★次の質問に回答してください 質問1：更新費用とは何のことか？ 建設費か、それとも原価償却費の年額か、どちらか分らない。 質問2：図1-17によると2031年以降10～15年の更新費用は約200億円減少する。この分は剰余金となり足立区はますます剰余金が増えると予想されるが、この予想は正しいか？ 質問3：学校更新は全て足立区の負担か？ 国の補助はあるのか？ 学校、保育園は文部省か、厚労省か？ 質問4：2051年以降更新費用が急増する。そのとき区の公債を発行するのか？ 質問5：この計画は総務省が作成を全自治体に求めているのか。それとも足立区が先頭を切っているのか？ ★論理展開に対する反論と意見 ① 前提b)は足立区には当てはまらない。足立区には全国第4位の大きな剰余金がある。 つまり、そもそも前提が成り立っていない。 ② 学校は未来を担う子どもたちを育てる最も基礎となる施設である。 フィンランドはかつて財政危機に陥ったが、教育への投資を増強させたことで、国力が大きく発展した。その中心政策は少人数学級の導入と、一人一人の個性、ひいては能力を高める教育原理である。日本も、教育を重要政策にするべきである。明治政府の小学校義務教育は日本の発展に寄与した。中心的課題は施設（ハード）ではなく、その目的を果たすための制度である。 ③ 社会は大きく変化して行く。政権が変わることもある。設備計画は将来世代が考える課題であり、この計画書のように50年先を予想だけで立てるのは無謀である（但し、耐用年数、つまり設備・施設の劣化は考えるのは当然） そして、その予想で現在の施策をしばるのは妥当でない。 私見：前提b)をもたらしたのは、歴代の日本政府である 厳しい経済状況を作ったのは、大企業が剰余金はふくれ上がらせるだけで経済成長のための投資を行っていないからである また、働く人を非正規に変え、低賃金にして結婚・子育てを困難にした。このため消費が増えず、少子化が進行した。 その上に、消費税率が上がり続け、上げるごとに消費が落ち込んだ。経済がどんどん悪化した。そして、日本だけが取り残されたのが現状である。

No

いただいた意見

一方、フランスでは人口が増えている（下図）。日本に比べ、子育てにやさしい社会制度があるようである。従って、人口が増えれば、上記の論理展開が全て崩れる。上記と逆の政策を実行すれば良い。

（蛇足ながら、生産年齢は65歳下という定義は現実に合っていない（P. 7）高齢者と高齢生産年齢者は違う概念生産に従事する高齢就業者（65歳以上）は着実に増えている。混同するような図表示はするべきでない）

★ 結論として

1）学校を減らさず、一人一人の能力を上げるための少人数学級を実現して欲しい。（少子化はチャンス）
（日本では不登校が増え国は教育義務を果たしていない。受験競争のための学力テスト偏重をやめるべき

2）この管理計画は、前提自体が誤っている（上記①足立区には膨大な剰余金がある）。
その上、少子高齢化の原因とその克服に触れずに、50年の計を立てるという無謀な計画である。
従って、この計画書の提示の目的は、遠い将来の資金を貯めこむ必要性を（しかも毎年200億円）区民に提示することにより、現在の膨大な剰余金に手を触れず、更に貯めこむことを、区民に受け入れさせるために作成されたように感じる。

3）現在の貯めこみ金は、区民一人一人の生活向上のために使ってください。

4）現存する施設の長寿命化のための設備管理計画をていねいに区民に説明してください。

参考資料

	フランス	日本
人口	約6513万人	約1億2686万人
高齢化率	20.75 (2020年)	28.40 (2020年)
合計特殊出生率	1.87 (2019年)	1.36 (2019年)
GDP	約2兆9382億7100万ドル (2021年)	約5兆3781億3600万ドル (2021年)
一人あたりGDP	約4.51万ドル	約4.24万ドル

図1-17 公共施設の更新等費用試算

R6.10.23 現在の暫定数値

上の棒：学校以外の更新等費用

下の棒：学校の更新等費用

■ 学校の更新等費用（試算）
■ 学校以外の更新等費用（試算）

No	いただいた意見
70	(1) 第9章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 表2-2 施設類型分類 番号25 小学校 26 中学校 ウ 今後の取り組み 平成7年に策定した「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置ガイドライン」では、当時の住民基本台帳人口等から算出した結果、将来の小学校を60校【現：69校】中学校を29校【現：35校】と決めました。P111 (P114) ＜執行部見解：計画の見直し・撤回を望みます。＞ 上記、今後の取り組みの二段落目に「令和7年度にガイドラインを改定する。」との文言があります。古いガイドラインによる算出が、乱暴ではないかとの印象をもちました。今回の足立区の計画は、統廃合先にありきで、今、国・都・区をあげてすすめられている教職員の働き方改革に逆行するものではないかと思います。また、教職員組合は、少人数学級を求め、運動をすすめています。少人数学級実現の際の教室不足が懸念されます。 地域住民にとっても、防災拠点でもある学校がなくなると、災害時の避難所が不足したり、遠くなったりして大変になります。また、地域コミュニティの核としての学校がなくなり、地域住民のつながりが壊れてしまいます。 統廃合でなくすべき学校はひとつもありません。学校は地域の宝です。地域コミュニティの拠点です。 (2) ＜職場から上がっていた学校統廃合への意見＞ ①子どものものを奪っていくのをやめてください。声なき声を聞かねばならないと思います。 ②地域、現場の声を聞くべきです。 ③学校統廃合による様々な弊害を考えると、無闇に進めてほしくないと思います。教育環境の悪化は、必ず子どもに返ってきます。 ④地域が成り立たなくなります。避難拠点がなくなります。 ⑤学校選択制をやるから過小校が出てくるのです。選択制をやめれば、学校規模は安定します。 【学校統廃合への執行委員会としてのまとめの意見】 学校は、どこでも平等な教育を受けられることを前提とし、子どもの全面的な人格形成を目的とした地域の父母・住民と共同して築き上げていくものです。今回の学校統廃合計画は、単に学校数を減らすだけでなく、その本質を変えていくものです。 学校統廃合に際しては、子どもたちにどんな影響を与えるのかを考えていただきたいと思います。子ども達に精神的なダメージを与え、学級崩壊や不登校が起きるなどの「荒れ」が報告されてきました。 予算削減の方策としての学校統廃合であってはなりません。地域に子どもがいる以上、その子どもたちに教育を保障する義務が、国や自治体にはあります。学校の「適正規模」や「適正配置」の前に、子どもたち一人ひとりをそのありのままの条件から考えることが必要なのではないかと考えます。

No	いただいた意見
71	統廃合があちこちで行われると学区域が広くなり、通学の安全性が心配です。子どもの数が減少しても現学校数のままで行き届いた教育を実現していただきたいです。時代と共に子どもたちをていねいに見て行く必要があると思います。小中学校の統廃合計画は撤回していただきたいです。
72	(1) 「足立区公共施設等総合管理計画」を足立区役所のホームページで見させていただきました。大きな視点として「40年後には現在の69万人の人口が11%減少して8万人減って61万人になる」「40年後には約8万人、11%減少する人口に合わせて、公共施設の規模も現在と比べて約13.5万㎡、11%減らしていく」この二つがベースになっています。 この考え方は将来どのような足立区を作っていくのかの未来像が見えてきません。 国も少子高齢化時代と言って社会福祉施設や子育て機能、教育機能などを減らす方向を打ち出しています。この中には人生百年時代と盛んに言っていますが、国民の命と健康を守る医療機関を、あのコロナ禍の重症患者が入院出来ず自宅で沢山亡くなっている時も消費税を使って急性期病床を減らし続けてこの5年間で数万の病床を減らしました。 また、今年の5月からは要介護者の命の綱とも言える訪問介護の報酬を3%も減らし、コロナ禍で赤字続きに追い打ちをかけて過去最大の事業所が倒産しました。そのため自治体に訪問介護事業所がゼロになったり1か所になった自治体が全自治体の2割にもなっています。 このように、人口が減ったのでそれに合わせて国民の大切な施設を減らすのは「人生百年」とか「介護は社会の責任で行う」と言っていることと百八十度違っています。 (2) いま、大切なことは、少子高齢社会にどうしてなったのかを十分分析して若い人が安心して子どもを生み育てられる環境を作って行くのが行政のあり方だと思います。 地球の温暖化で、いつ大災害が起きるか分からない時代になっています。地域の方がその時に安心して避難できる場所をどう確保するかを考えると公共施設を人口が減ったからと機械的に減らす安易な考えはやめていただきたいです。小中学校はまさに身近な避難所です。アンケートでも避難所が遠いとか、避難所は弱者に対する配慮が弱いからとか言う回答が沢山ありました。また、高齢者や若者も居場所が地域になく困るという声も沢山でています。最近は収入が減っているのに社会保険料が値上げ続きのうえ生活必需品が値上がりしが激しく、暑かったり寒かったりしても電気代が高くて利用できない人が多くいます。民間施設には、お金を出さないと利用できず、頼みの綱はやはり無料で利用できる公共施設です。近くの施設がなくなればどこに避難したらいいのでしょうか。 足立区は毎年の予算書には、「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」とかがスローガンに書かれているが国保保険料や介護保険料が毎年の値上げになり、その上、国保料の差し押さえ件数が急増しています。どこが命と暮らしを守り

No	いただいた意見
	安心を保障していますか。 公立保育園を現在の30園を半分の16園に減らすことは、ますます少子高齢社会に拍車をかけるのではないのでしょうか。学童保育室も両親が働き「昼間の家庭」の機能がある学童保育、全児童を対象にする放課後子ども教室とは一緒に出来ません。安心して働き子育てができるには学童保育室は大事な施設です。必要な児童が入室できる数を確保して下さい。 一律に公共施設の新設はしないと言う方針は間違いです。足立区の図書館は15館で数では23区で3番目ですが人口比率や面積比率では下の方です。人口あたりの図書費用では最下位です。子どもの将来を考えれば、小学低学年でも放課後一人でも図書館に行ける距離に欲しいです。これは子どもだけでなく高齢者も同じです。中学校区位に一つ必要です。
73	(全文公表を希望しない)
74	足立区公共施設等総合管理計画は、足立区政が区民の暮らしや区民文化の向上をどう考えているのか全く見えません。区は人口が減るからとの理由で各種の公共施設を削減は止めてください。地域学習センター、図書館、音楽室、スポーツ施設、区立公園、東綾瀬公園温水プール、公立保育園、区民事務所、高齢者施設などは、区民の財産です。維持費用が必要なのは当たり前です。
75	この先10年間は人口増が確実な中で逆行されようとしている公共施設減らし強行計画である。駅前を見渡せば次々と新築される高層高額マンション、ここに区施設を必要としないだろう（でなければ公共施設をはじめ公営のものを嫌悪している）新住民を大量転入させて区政への世論をゆがめようとする工作かと疑いたい。区の公共施設をフルに使い倒してきた区内既住民は一方的に「ダサイ」と決めつけられ、「施設は何でも民間に限る」との感情を持っている新住民はどうして「カッコイイ」のか、これほど理解に苦しむことはない！
76	説明会に参加して (1) 40年後の人口減少率に合わせて、単純にその比率に合わせただけの施設数や面積に減らすのは、現在の各施設の役割の評価もしないで案を作るのは、住民の生活実態や要求を無視したもので、驚きました。これから、どのような手法で最終計画を作っていくのかから、住民参加で行うのが基本だと思います。 (2) 人口減が税収減を招き、公共施設の維持が困難になるとの考えですが、これからの40年間もこれまでの30年間続いた社会が続くという前提なののでしょうか？社会がどのような変貌を遂げようが、住民が安心して安全に暮らしていけるようにするには、住民の中での社会格差を減らす方向で公共施設が地域コミュニティの居場所になることがかなめだと思います。例えば、学校では、子どもたちの発達や成長に必要な人的配置や一人当たりの面積が確保できているかどうかの評価もして、取り組むべきです。住区センターの存在が、子どもから高齢者まで活用できるような構造や仕組みになっているのかも問われると思います。図書館など文化施設が足りているのかもきちんと評価することなしに統廃合

No	いただいた意見
	や、賃貸に出すなどの発想自体がおかしいと思います。 (3) 民間の開発や再開発を旺盛に進める一方で、人口減が生じるから公共施設の縮小を図るのは、社会格差をさらに広げるだけで行政の存在価値を下げるものです。一般庶民の社会参加の機会が狭まるだけで矛盾しています。40年後を人口減少だけで規定して、公共施設等の総合計画を作成するは、とても納得できるものではありません。 (4) 専門家・有識者による諮問機関をもうける場合も、審議内容も公開し、そこにも、はじめから住民参加を保障することが、住民自身が街づくりに参加する基本だと思います。
77	(1) 図書館を増やして下さい。子どもたちの居場所・住区センター・文化施設を増やして下さい、年配者が徒歩で行ける範囲に。それらの施設の利用料を今より安くして下さい。 (2) 小中学校の統廃合は、やめて下さい。少人数のゆったりした教育をして欲しい。新田小中学校の様な校庭も満足に無い状態はおかしいです。 (3) 公立保育園をこれ以上減らさないで下さい。庭もあり、条件の整った保育園が子どもの健やかな育ちに必要です。そんな保育園が近場にあることが、子育て世代を応援します。 (4) 文化施設が身近に有って気軽に利用出来ることは、人々が集って、楽しく健康に暮らしていける条件だと思います。
78	(1) これから40年間という長いスパンの計画を、4年ごとに見直すとはいえ、決めていいのか？しかも中身は施設を減らす計画です。40年後の区民に責任が持てません。数年前の計画は30年スパンでした。今回40年のスパンになったのはなぜなのか説明もありません。5回の説明会とパブリックコメントを多くの区民は知っていません。こうしたなかで決めるのはおかしいと思います。杉並区長は「・・・前の区立施設整備計画の決定プロセスは区の内部で検討して、ほぼ固まった計画案を地域住民に説明し、意見が出ても計画の根幹についてはほとんど修正することなく決定していたと感じる。・・・計画決定のプロセスに、幅広く地域住民の声を聴き、論議を重ねながら思いやアイデアを織り込んで、一人ひとりの納得感を高めていくことが重要・・・今後の施設整備のあり方を、計画決定プロセスも含めて考えていきたい」と発信しています。足立区もこの立場にたち、この計画案を決定していただきたい。 (2) 40年後を考えて現在の区民に公共施設は新たに作らず、減らしていくとがまんを強いる今回の計画。しかし財源をいえば積立金は全国4位の多さです。公共施設を減らす前に、民間主導の再開発をストップさせる決断を！千住一丁目ザ・タワーには区民の税金が40億円も投入されました（引き続き区は再開発を進めています）。また、不要不急の都市計画道路などもストップの決断を！税金の使い方を区民目線にして下さい。
79	(1) これから10年は人口が増えるのに、40年後11%減るという机上の予想で区施設を減らすという計画は基本的な考え方としておかしいと思います（新田学園の実態を区としてどう受けとめているのでしょうか）。

No	いただいた意見
	(2) 足立区は今ある施設も使い勝手が悪かったり、使いたい時に使えなかったり、多様な要望に答えるいろいろな規模の施設が他区に比べてとても少ないと思います。全国的にも多い基金をもっている足立区は区民が安心して豊かにくらせる施策ができるはずです。40年後の人口減少と区財政論ありきではなく、区民の要求を実現することを基本にすえた区政であってほしいです。公共施設等総合管理計画は撤回してください。
80	(全文公表を希望しない)
81	(1) 公共施設の老朽化が進行していることは理解しますが、30年先を予想で小・中学校の統合することには反対です。現在、空き教室もなく狭い教室で学習している児童・生徒が少人数でのびのびと学習できるようにしてほしいです。 (2) 綾瀬小学校内にとても立派な図書館があり、司書の方もいて相談にも乗ってもらえます。しかし、幼児・乳児など子どもがいる方のみの利用で、一般市民は利用できません。市民が利用できる図書館を、住民が行きやすい(近くの住区センターなどと一緒によいので)所に作ってほしいです。 (3) 教育に関する事業は民営化せず、公費で行うべきだと考えます。
82	行政マンのみなさん、行政は区民の為、現在と未来にわたって福祉・安全安心を補償することが大切にして欲しいです。誰でも年をとります。健康で生き生き生活していくためには、区の公共施設を分散し誰でもが徒歩でいくことができるよう改善して欲しいです。行政マンのみなさんも、自分自身のこととして、住みよい足立区をめざして欲しいと思います。区財政は豊と聞いていますので。
83	(1) 足立区で生まれ、他の自治体で50年暮らし、昨年再び足立区民となりました。公園が町の中にいくつもあり、都心とは違いゆったり過ごせる環境もよいと感じます。ただ、公共施設などは住民の高齢化や若い世代が移り住んで来た時とても重要な場所だと思います。移動手段の公共交通と同時に、地域住民が集える無料で使用できる施設、図書館、スポーツ施設の充実は足立区のグレードアップにもつながると思います。 (2) 今あるものは改修、設備の補強、建替などを計画的に進め、統廃合ではなく増設を願います。住民が安心して豊かに暮らせる町づくりをみんなでしたいです。
84	(1) 公共施設は区民の大事な財産と考えます。今ある施設は、減らさず最大限活用してほしいと考えます。足立区では子どもの学力向上に力を入れています、学校は壊さず減らさず、少人数学級に積極的にしていくべきだと考えます。そうすれば、学校を新しく建設しなくとも少人数学級の条件整います。少人数学級以外でも、足立区は防災にも力を入れているので、緊急時の避難場所にも活用できます。他にも、地域図書館としての活用もお願いしたいと思います。子どものころ友達と大谷田南公園にあったプールで遊んだ後、中川図書館で本を読んだり、宿題をやるのが定番の夏休みでした。 (2) 東綾瀬公園の「すいすいらんど」は、屋外のアイススケート場を復活させて欲しいです。以前は、家の近くにプールと

No	いただいた意見
	アイススケート場があり、子育てには本当に役立ちました。北綾瀬駅の始発化などもあり、子育て世代も増えており、足立区に子育て世代への魅力を発信するには大いに役立つと考えます。
85	足立区の基金は予想以上に多いと聞きました。そういったことに触れないで、区財政優先で区民施設は減らさないでください。
86	(全文公表を希望しない)
87	80歳近くまで働きながら、子供、孫に迷惑をかけないように、楽しみながら働いています。健康であってこそ仮定、地域、社会貢献出来ます。区の施設、土地は区民の財産です。使用料取らず貸すべきです。大型道路建設よりも区民（不明）の願いを聞いて下さい。（不明）であってこそ足立区、東京都、国です。
88	(全文公表を希望しない)
89	へらさないでください。お願い致します。
90	(全文公表を希望しない)
91	(全文公表を希望しない)
92	(全文公表を希望しない)
93	(全文公表を希望しない)
94	足立区本木地域・扇町地域は低湿地帯です。昔から木造過密住宅地です。道路も狭く消防車両、救急車もなかなか自由に往来出来ません。地震、火災、水害時には大きな災害に発展しかねません。特に近年気候変動で大雨、集中豪雨が顕著です。震災、火災も心配です。その点で、地域の防災拠点として既存の学校小中学校は頼りになる存在です。問題は災害時に避難所として機能が不十分なことです。六中・寺地小にはエレベーターがありません。高齢者、身障者などを上階に運ぶのは現状では人力に頼るしかありません。もちろん地下に巨大な貯水プールを掘るなどのアイデアに反対ではありませんが、膨大な財政と計画準備が必要です。今直ぐにでも取り掛かれるし、膨大な予算をかけないでも実現できる、当面足立六中と寺地小にエレベーターの設置をお願いします。
95	学校を減らすのはそんなに人口が減っているとは思えません。
96	(1) 梅田八丁目の複合施設を当初の計画通り作ってもらいたい。楽しみにしていましたので、がっかりさせないでください。 (2) 公立保育園は民営化ではなく改築を優先し、30園を守って安全なゆきとどいた保育が出来るようにして欲しい。孫が公立保育園に入れて良かったと思います。 (3) 学校は地域のコミュニティの拠点であり、子どもたちの行き届いた教育のためにも減らさないでほしい。 (4) 日光林間学園は子どもたちにとって野外活動をする場として大切。廃止しないでください。

No	いただいた意見
97	住民を追い出す大型道路建設はすすめるのに、住民のための施設を減らすという計画は納得できません。撤回して下さい。
98	学校は絶対に減らさないで下さい！！
99	(1) 区民の娯楽施設その他なくさないように。それどころかもう少しそういう施設を増やして下さい。 (2) 小学校の学童保育の充実、増加をお願いしたい。 (3) 高齢者の健康増進、それ以前の高齢者のフレイル（心身の衰弱）を防ぐための対策をもう少し拡大してほしい。 (4) 区の知的・文化的レベルアップと区民の精神的不安を保持する為支出してほしい。 (5) 高齢者や子供達の日々の生活の安全の為に、その補助をもう少し配慮してほしい。緊急ベルの要件なしの貸与等生活に密着した援助を考えて、その費用を予算として出してほしい。
100	(全文公表を希望しない)
101	(全文公表を希望しない)
102	区施設保有削減に反対します。
103	(全文公表を希望しない)
104	区民事務所を廃止しないで下さい。都営住宅の減免申請が年2回あり。収入報告当の手続が大変になる。
105	(全文公表を希望しない)
106	色々こわす予定らしいですが、学校などではこわすよりかつようする方向で考えてください。
107	色々な人がいるので公共施設をなくさないで利用できるようにしてください。
108	コミュニケーション不足により人が歪んできている気がします。老若男女の集えるコミュニティー施設は元気なあだちっコには大切な場所だと思います。「やさしいあだちく」を作してほしい。
109	(全文公表を希望しない)
110	(全文公表を希望しない)
111	(全文公表を希望しない)
112	大型道路よりも切実な区民の願いをかなえる施設を増やしてください。区民施設は減らさないでください。
113	(1) 足立区の基金は予想以上に多いと聞きました1（1848億円）。そういったことに触れないで区民施設を減らさないでください。 (2) 区の施設、土地は区民の大切な財産。売却はやめて有効活用して下さい。
114	区民事務所を廃止しないでください。

No	いただいた意見
115	学校、保育園を統廃合し、空いた土地を民間の知恵や資金で区民のサービスの「充実」に生かすそうですが、無茶ですね。私も永年商売をしてきました。儲からないものはやりません。空いた場所は新たに要望がある公共施設を建てればよいだけではないでしょうか。考え方が区民に向いていません。「計画」は撤回してください。
116	(1) 人口減少社会が40年後の区の姿だといっていますが、それは「国力」が衰退することでしょう。今から手を打てばよいのでは。 (2) 足立区の基金は全国4位だそうです。区民のサービス提供する場所を作ってください。その事をするのが区役所の仕事ではないのでしょうか。区民に相談し、より良い足立区にしてください。
117	(全文公表を希望しない)
118	(全文公表を希望しない)
119	(1) 学校は地域のコミュニティの拠点です。子供たちの元気の源は学校です。その学校は減らすな。何を考えているんだ！！腹が立つ。 (2) 公共交通を減らすな。高齢者の足の便を考えろ！！
120	(全文公表を希望しない)
121	足立区の基金は予想以上に多いと聞いています。それに触れないで区財政優先で区民施設を減らす事は反対です。
122	加平2、3丁目は区の施設は一つありません。期日前投票は綾瀬1丁目までバスでいかなければなりません。区民事務所を開設してください。私は今自転車で移動できますが、歩行のみで移動する人達のことを考慮してください。
123	(1) 東綾瀬公園温水プールを廃止しないでください。以前はスケートリンクもありました。 (2) 足立区は原則新しい公共施設は建設しない方針だそうです。暗い気持ちになります。必要なものはつくるべきです。
124	(全文公表を希望しない)
125	(1) 積立金が1800億円あるのに区民の財産である土地や建物を売却する事はやめてほしい。また、その積立金でリノベーションできる建物等は利用する。 (2) 足立区に住んで良かったと思える公共施設を増やし区民サービスが充実できるよう考えてほしい。
126	(全文公表を希望しない)
127	区の施設、土地は区民の財産。売却はやめて有効活用してください。
128	(全文公表を希望しない)
129	(全文公表を希望しない)

No	いただいた意見
130	将来の事を考える事は大切です。でもその前に今の人達、子供達を大切にして下さい。将来は現在の積み重ねなのですから！！
131	足立区の基金総額は1718自治体中第4位だそうですね。そうした事にふれないで「新しい公共施設はつくらない」「施設面積を減する方針」を撤回してください。区民の願いの実現ではなく、区財政論先にありきは本末転倒です。
132	区の施設、土地は区役所のものではありません。区民の財産でしょう。有効活用という理由で売却はやめて下さい。
133	高齢者が多くなれば、より近い所にさまざまな施設が必要になるのではないのでしょうか。行き届いたサービスのために減らさないでください。
134	「施設類型ごとの管理に関する基本方針への意見です」 (1) 足立区は基金が予想以上に多いと聞きました。区民のために使うべきです。区民が使いやすい、地域のコミュニティとしての図書館、地域学習センターを減らさないでください。 (2) 公立保育園は民営化ではなく改築を優先すべきです。 (3) 学童保育室も増設してください。
135	人口は当分減らないのに施設面積を減らす方針は撤回して下さい。
136	東綾瀬公園温水プールを残してください。週1回の指導者を招き元気に暮らそうと頑張っていきたいです。
137	区の施設、土地は区民の財産。売却はやめて有効活用して下さい。
138	(全文公表を希望しない)
139	私は住区センター・学習センターは高齢者にとってたのしみの一つです。特に1人住まいの高齢者は社会的な生活、会話など、運動など必要になってきます。またふやしてもらいたい位です。なくさないで下さい。
140	学校は地域のコミュニティの拠点です。子どもたちの行き場、遊び場でもあります。減らさないで下さい。
141	地域学習センターや住区センターを増やして下さい。
142	地域学習センターをなくさないで下さい。
143	地域学習センターをなくさないで下さい。
144	公共施設が私達の希望です。図書館は子供の時の思い出の場所でした。絶対なくしてはいけないと思います。絶対反対です。
145	(全文公表を希望しない)
146	(全文公表を希望しない)
147	(全文公表を希望しない)

No	いただいた意見
148	(1) 図書館は読書コーナーが少なく、もう少し図書館をふやして欲しい。また、古い本が多く、時々、新たな本を入れ替えて下さい。 (2) 地域にある保育園、学校、区民事務所等、公立としての施設を簡単になくさないで下さい。 (3) 地域の大きな家がこわされると同時に大きな木が次々倒されていき、緑が少なくなってきました。緑地のある環境を残して欲しい。
149	(全文公表を希望しない)
150	「すいすいらんど」のプールの廃止に絶対反対です。真夏の子どもたち、親子連れの遊び、運動の場というだけでなく、温水プールで1年中泳げるプールは高齢者の健康作りや働き盛りの人たちの成人病予防にも役立っています。廃止は考えられません。
151	(全文公表を希望しない)
152	(全文公表を希望しない)
153	(全文公表を希望しない)
154	(全文公表を希望しない)
155	(全文公表を希望しない)
156	(1) 保育園は公立で民営化はしないで下さい。保育士の質が低下します。 (2) 地域学習センターは老人から子供達が利用しています。体力増進、娯楽施設として生きがいになっている方が沢山います。減らさないで下さい。
157	公共の施設を減らさないで下さい。
158	(全文公表を希望しない)
159	減らさない様にして下さい。区民の財産ですから。
160	なに事も減らせばよい事ではない。学校、公立保育園、プール、図書館、区民事務所、現状を維持するように努力して下さい。！財務省のいいなりになるな！
161	学校とか困っている人に使ってください。私高校の施設費高い見たいです。
162	(全文公表を希望しない)
163	(全文公表を希望しない)
164	反対公共施設は今のままで減らさないで。

No	いただいた意見
165	人口は当分減らないのに施設を減らす方針はしないで下さい。
166	積立が区で余っているのにきつえん所を作らず、生きがい奨励金を復活してほしい！
167	後期高齢者医療の窓口負担を2割にしないで下さい。物価高の中年金生活者は大変です。
168	人口は当分減らないのに施設面積を減らす方針は撤回してください。
169	(1) 学校は地域のコミュニティであり、子供達に行き届いた教育のためにへらさないで下さい。 (2) 日光林間学園は廃止しないでください。
170	「新しい公共施設は建設しない」を撤回して下さい。人口はいまへっていないのに、施設面積をへらさないで下さい。
171	(1) 公立保育園は民営化ではなく改築を優先するべき。 (2) 図書館を増やしてほしい。 (3) 日光林間学園は廃止しないでほしい。 (4) 子供たちの教育の為にも学校はへらさないでほしい
172	バスを増やしてほしい。バス会社に補助金を出してほしい。
173	お願いします。減らす事ばかりではなく、もっと現在の苦しい生活を守ってくれるのが政治と思うのです。
174	足立区の建物をなくさないでほしい。
175	施設類型ごとの管理に関する方針への意見です。 公立の保育園は足立区の財産であり、子育て支援の要となっている。園数を減らすのではなく、老朽化した園舎を改築し、少子化対策の柱としてほしい。
176	「施設類型ごとの管理に関する方針への意見です」 (1) 各地域の学習センターの利用料金が他区に比べると高額です。他区並にして下さい。 (2) 老朽化施設をこわした後、新しい施設を建設して下さい。
177	住民のために文化施設や高齢者の集まりどころや子育て世代の集まれる場所を増やすことに力を入れて欲しいです。
178	図書館をふやしてほしいです。
179	住民のために文化施設や高齢者の集まりどころや子育て世代の集まれる場所を増やすことに力を入れて欲しいです。
180	大型道路よりも切実な区民の願いをかなえる施設を増やしてください。
181	(全文公表を希望しない)
182	「新しい公共施設は建設しない」は撤回してください。

No	いただいた意見
183	公共施設は自宅から自転車で5分歩いて15分くらいのある所に配置してください。あまり遠すぎると困る。
184	区民の大事な公共施設をなくさないで下さい。むしろ、充実させて下さい。
185	区民施設は減らさないで下さい。新しい公共施設は建設しないで下さい。
186	大型道路よりも切実な区民の願いをかなえる施設を増やしてほしい。
187	旧江北小学校跡地は文化ホールなど若者や高齢者と幅広い世代が利用できる施設を作してほしい。
188	小・中学校の統廃合をしないでください。
189	学校は、地域のコミュニティや防災の拠点となるものです。子どもたちのゆきとどいた教育のためにも有効活用を図って下さい。
190	(全文公表を希望しない)
191	東綾瀬公園温水プールはぜひ残してください。
192	公立の保育園を少なくする計画あるそうですが、反対です。民営化ではなく、公立にして欲しい。
193	(全文公表を希望しない)
194	(全文公表を希望しない)
195	(全文公表を希望しない)
196	(全文公表を希望しない)
197	(全文公表を希望しない)
198	説明会に行った人から「資料」を見せてもらいました。あきれて言葉も出ませんでした。公共財を増やして区民幸福度を高めるのが仕事でしょう。それを減らすなんて許せません。この計画を撤回して下さい。区民の声をよく聞く人を育てて下さい。お願いします。
199	(全文公表を希望しない)
200	「施設類型ごとの管理に関する基本方針への意見です。」 (1) 足立区の基金は予想以上に多いと聞きました(1848億円も)。そういったことに触れないで区財政優先で区民施設は減らさないで下さい。 (2) 区の施設、土地は区民の財産。売却はやめて有効活用して下さい。 (3) 大型道路よりも切実な区民の願いをかなえる施設を増やして下さい。 (4) 文化施設(区民が楽しめる)を増やして下さい。 (5) 図書館を増やして下さい(できれば駅の近くに)。

No	いただいた意見
201	(1) 足立区は積立金が1848億円も有るのに土地や建物を売却したお金を財源にして何をするつもりですか？ (2) 区の施設、土地は売却しないでください。区民のサービスの充実とより良い町づくりのため利用してください。 (3) 「新しい公共施設は建設しない」を撤回してください。 (4) 地域学習センターを減らさないでください。現在の数でも施設が借りられなくてサークル活動に支障があります。 (5) 綾瀬に図書館を作ってください。
202	(1) 公共施設は区民にとって当然あるべき施設であり、増設するべきもの。減少することのないようにしてほしい。ましてや、区有地など区民の財産であり、民間に払い下げることをないように希望します。 (2) 今後人口の減少を前提にしていますが、学校など不登校の生徒が急増している時こそ少人数のクラスを考えて、対策できるチャンスなのではないかと思う。 (3) 又、今後お年寄りが増加していくからと報告しているが、災害時、近くに公共施設があれば、安心して避難を考えられる等、今後公共施設を増やすよう希望する。
203	(全文公表を希望しない)
204	(1) 公立保育園30園を16園にするには反対です。1970～1980年代ポストの数ほど公立保育園をという、区民の願い、運動のもとやっとできた保育園をへらすことには絶対に反対です。民間保育園でマンションの一室で園庭もなく外あそびが一斉できない保育園をみかけます。一日中部屋の中ですごす園児、健康的によいはずありません。子どもの成長(精神的、肉体的)を考えて今ある公立保育園はへらさないでほしいです。 (2) 日光林間学園は老朽化であれば、新しく建て替えて小中学校の林間学園として続けて下さい。子どもの成長に学園での3日間の生活がどれ程大切か大人になってわかります。
205	(1) 図書館は減らさないで！学生の勉強の場にもなっています。幼児スペースを広げたり改善こそ必要と思います。 (2) 公立保育園を増やして！働きたい女性が安心して預けられる公立保育園こそ必要です。子どもの成長に合った環境、保育士の人員増(正規)を望みます。 (3) 小中学校は減らすな！災害があった時の避難場所にもなる所です。不登校児童にも目が向けられる教員増こそ考えてほしいです。
206	(1) 区民事務所は、バス便がなく不便な地域では、住居になるべく近いところにあって欲しいです。 (2) 図書館は、本の利用だけでなく、受験生の利用も多いです。中学生や高校生など、学びの場となっていますので、減らさないでください。 (3) 小学校は、1年生が徒歩で安全に通学できると、親としても安心なので統合しないでください。

No	いただいた意見
207	(全文公表を希望しない)
208	(全文公表を希望しない)
209	(1) 区の施設、土地は区民の財産です。売却はやめて有効活用してください。 (2) 綾瀬駅周辺は、高層マンション等が増え、若いカップルも増えているようです。子供からお年寄りまでを対象とする公共の諸施設が必要です。10年前から要望があります図書館を是非作って知育の文化を定着させて下さい。今日の情報過多の中で真実を求める場所は図書館です。これからの若者やこどもたちの成長や住民の探求心、物事の本質を極めるなど多彩な役割をもつ図書館を是非作って下さい。
210	綾瀬に図書館を作ってほしい。東口駅前開発に図書館の新設を強く望んでいる者です。元交通公園を含む一帯に図書館ができれば、綾瀬地区だけではなく駅を使う広い範囲の住民が利用できると思う。既設の図書館はおおむね鉄道駅から離れており、建物近辺の住民の利用がほとんどではないか？足立区東部は小中高等学校が多いばかりでなく、保育園も多数で幼児、父兄、母姉(?)また従事者も利用するものと思う。地元綾瀬は子供の教育充実を願う意識が強く、区外の小中学校へ通学させる家庭が多い。夫婦または独居の高齢者が多く、子育ての時期には残念ながら公的補助はほとんど企画されておらず、子育てを終え、自分育てをしながら余暇をすごす公共施設も高齢者で埋まっている。全世帯の知識欲を満たせる場所がこの地域になく困っている。もともと交通公園となりの区民事務所は図書館やホールがあり、発表会や優良映画の上映なども催されていた建物である。これが土地利用を改良できる最後のチャンスと思い、この文を書いた。
211	(1) 地域学習センター等、区の設備で防音のきいた部屋が少ない。この為太鼓を叩ける場がない。多くの太鼓サークルが練習場所に困っている。よって音楽や太鼓など使用できる公的設備の場をもうけてもらいたい。 (2) 将来ある子どもの為に保育園は区立存続、新設を求める。 (3) 私立の学童は増えているものの、区に関係する学童保育室の増設を求める。子どもの居場所の確保、特に長期休業中については定員オーバーの所もあるので、臨時的な対応を求める。 (4) 個人の財産を奪う大型道路の増設は必要ない。住民の居住権を無視した西新井公園の建設は白紙に戻すべきである。 (5) 区民の生活を保障するため、国民保険等の減額を行い、大型計画はストップすること。
212	「施設類型ごとの管理に関する基本方針への意見です」 (1) 学童保育室の直営をどんどん減らし、子どもたちが安心してすごせる居場所がなくなっています。資格のある指導員のもとで時々のお気持ちを受け止めてもらい友達関係を築き上げていく必要性が大きく求められています。つめこみのような放課後子ども教室をやめて直性にもどして下さい。 (2) 図書館の増設について、足立区は絵本の取り組みを重要視しているのに図書館を減らす事は矛盾しています。乳児を連れて行っても安心して絵本を読んであげたり、いつでもかりられるように住居の近くに小さくて良いので増設すべきです。

No	いただいた意見
213	(全文公表を希望しない)
214	(1) 全体を貫く姿勢が40年後を見据え、人口増の今は我慢し、減少後の施設数は減少させ、複合化の方向、民活化（つまり区民の財産を個人や会社に譲渡する）が透けて見える。区民を大事にしない計画だと思います。まず、区民の生活優先、安心安全を基本に貫くべきだと思います。 (2) 保育所、学童保育所を公設公営にし、安全で中身の濃い保育にする。 (3) 小中を充実させれば「子育てするなら足立」と若者世代が定着します。またそれを担う職員の住居を保障、区内に定住してもらうことで税収も安定。 (4) 子ども施設と小型老人施設を隣接させふれあいを増やしましょう。 (5) 大規模災害が現実視されている今、公共施設は減らすことなく少しでも住民に身近な場所に確保されるべきです。 (6) 効率を考えるあまり子どもたちをバス通学させてまで仮設校舎に運ぶなど不可解な事がこれ以上起きないように知恵をだしあいましょう。
215	新しい公共施設は建設しない方針だと聞きました。また公共施設面積を40年後には11%人口減が生じるから施設面積を減らす方針だそうですね。区民にサービスを提供する施設を「ダイエット」のようにあつかうのはよくないと思います。もっと時間をかけて区民と相談して一緒に決めていければよいのではないですか。
216	(全文公表を希望しない)
217	教育の分野から公共施設の問題について意見を述べます。 統廃合でなくなった「鹿浜西小を商業施設に」とありますが、統合でできた小学校はすごく荒れて苦勞していると聞きます。子どもたちが犠牲になっています。足立区は今までにかなりの数の小中学校を減してきました。さらに学校選択の自由化によって学区域の学校に行かなくなり、地域に根ざした教育を壊してきました。結果、過大規模校と過小規模校をつくり出し、一層困難な教育にしまいました。 子どもが少なくなるのは、子どもをていねいに育てることが出来る良いチャンスです。世界の流れも1クラス20人規模です。1クラス20人を基準にどれくらいのクラスが足立区内で必要か計算してください。今の1.5倍以上の教室が必要です。民間事業者のもうけばかりに力を入れないで学校が子どもたちにとっても教員にとってもゆとりあるものにするために学校はこれ以上へらさず逆に増やすぐらいにして下さい（過大規模校を解消するために）
218	区民事務所を廃止しないで下さい。
219	足立区の基金は予想以上に多いと聞きました。そういったことに触れないで、区財政優先で区民施設は減らさないで下さい。
220	(1) 人口は当分減らないのに施設面積を減らす方針は撤回してください。 (2) 指定管理制度を再検討してください。

No	いただいた意見
221	「新しい公共施設は建設しない」と言っていますが、やはり私達は年をとっているので老人の為になる施設は建設して下さい。
222	図書館、住区センター、出張所は減らさないで下さい。
223	(1) 足立区の積立金は1848奥苑になり、大変多いと思います。それなのに区民施設を減らすことはしないでほしいです。 (2) 区の施設、土地は区民の財産です。売却はやめて有効活用してください。
224	(1) 区民事務所等区の施設を減らさないでください。マイナンバー制度により利用が減るは短らく的ではないでしょうか。むしろ「近所の区民事務所で区役所に行かなくても用が足りる」方がよいです。 (2) 地しんや大雨など災害が多い近年、防災の面からも区の施設は維持し、機能を拡充するべきではないでしょうか。また、区の職員も臨時で手が必要な時のみにし、正規職員が必要と思います。
225	(1) 足立区公共施設等の総合管理計画の中で、改築にあたりユニバーサルデザインの推進や脱炭素化を推進、計画的に改築を行うなど良い点が盛り込まれています。よろしくお願いします。 (2) 足立区はためこんだ積立金が全国4位、1858億円もあります。それを活用して区民のためにより施設を作して下さい。 (3) 学校や保育園、学童保育室など減らさず増設してください。 (4) 図書館は私たちの強い願いです。増設して下さい。区民の幸せを優先して計画を見直してください。
226	(1) パブリックコメントは町会、自治会を通じてもっと多くの方が出来るようにしてほしいと思います。 (2) 学校は減らさないでください。近年地震など多くなって来ているのに避難所も足りないと言われているのに困るのではないのでしょうか。 (3) そして不登校も増えている中、少人数できめ細かい教育、先生とのふれあいが重要だと思います。 (4) 区民事務所はもう少し近くに増やしてほしいと思っているのに何でも町会、自治会に押し付けるのはおかしいと思います。特に団地、マンション等は役員さんになる方も少なくても仕事が多すぎると思います。
227	(全文公表を希望しない)
228	(全文公表を希望しない)
229	高齢者は運転免許証の自主返納が推奨される。なる程と思う。高齢者の事故件数の割合は大きい。私は後期高齢者だが車を運転している。もし免許証を返納し車を手放したら移動の手段が格段に不便になる。近くを走っていた「はるかぜ」が廃止になった。区内の公共交通網を充実させれば高齢者は勿論区民全体が移動しやすくなり、車も減り良いことづくめと思うが。
230	(全文公表を希望しない)

No	いただいた意見
231	住民の声を広く聞き、小中学校の統廃合や、公共施設の縮小などの実施を急ぐことのないように要望します。 区民の声を広く聞いてください。小中学校の統廃合には反対します。今ある学校をさらに充実させて、子どもたち一人一人が大切にされる教育を行ってください。 区の施設を減らすことにも反対です。駅に近いところだけではなく、身近に行けるところにあることが大切だと思います。
232	図書館のトイレの整備、ウォッシュレットと石けん液、乾燥機の設置を。閲覧の椅子、机の増設。中央図書館をもっと交通の便の使いやすい場所に移転設置を。荒川区のゆいの森は参考になります。
233	(1) 10数年は人口が増えるのだから40年後の人口減少に向かう削減は反対だ。基金残高も間違って小さく描いているのは区民に施設・サービス削減が当然と促していると感じる。開発は今後10数年で多く区財政支出もあると見込まれるのに、一方大事な区民の生活には視点が向けられていない案だ。認められない。施設削減後、跡利用ではなく安易な売却も書きこまれている。 (2) 喫煙所は唯一公共で財政も注ぎ増やす計画であり矛盾があるのではないか。 (3) 保育園も公立は貴重となっており、民間保育園への指導的機能も求められるのに、削減ありきでは問題。感染症の危機にも対応できなくなる。 (4) 学校統廃合や学童と放課後子ども教室との合併案も見直しする必要がある大いにある。今やる事は、余裕のある教員体制にさせ不登校対応が校長はじめ充分できる環境こそ求められている。 (5) 日光林間学園は廃止にしないでください。 (6) 東綾瀬公園温水プールは廃止せず区民開放型の温水プールをつくり区民が気軽に使えるようにしてください。
234	区民事務所を学習センターの建物内ではなく、独立したものに。理由は、諸々の手続きは、本庁に行かなければ出来ない。現在の業務の範囲を広げて欲しい。足立区は高齢者が多いとされ、課題も多くあるはず。「公共施設」の計画であれば～課題として上げて下さい。

No	いただいた意見
235	先日行われた事前説明会にも参加しました。事前説明会やこのようなパブコメがあることについては、ありがとうございます。 さて、頂いた封筒の右下には、ひと、まち、あだち そして、裏には協創力でつくる 活力にあふれ 進化し続ける ひと・まち 足立 と書いてあります。 なんて素敵なキャッチフレーズ！こう掲げるには、その方針に基づいた区政をやってほしいのですが、残念ながら、この素案を読ませていただくと、ずうっと将来、人口減で税収が下がるため、今のうちに考え、実行しなくては・・・つまりひとはなるべき我慢してとしか思えない気がするのです。これでは、このキャッチフレーズが絵空事になってしまいます。 「原則、新しい公共施設は建設しない」のでは、この先の希望が先細りしてしまいます。 産んで良かった。子育て・教育なら足立区。文化も自然も足立区。老後も安心。住むなら足立区と胸を張れる足立区にしてほしいのです。欲張りでしょうか。 例を挙げます。イベントを行うための各施設について、その使用は区の主催が優先で、そのあと団体の取り扱い、抽選に外れた場合は、大変です。 67万人の人口からすると、ホールなどが少なすぎます。せめて区民や区勤務者の多数が関わる団体のイベントは区の施設でやることで、上記の文言に近づきます。残念ながら、他区市で開催することもあり、（足立区で開催出来たら足立区をアピールできるのになあ）と思うのです。 区だけの問題ではないかもしれませんが、大型開発や道路拡張は、どんどんやるのでしょうか。大型開発で民間業者に区民サービスの「充実」を活かす。ということはすでに破綻していると聞いています。当たり前です。業者は金もうけが優先ですから区民サービスなどそっちのけです。今、大型道路などは必要ないです。大型道路で喜ぶのではなく、身近なところで区民の心がほっとするものにお金を使いませんか。 「足立区にはお金がないんでしょ」といまだに言われることがありますが、基金残高が実際は1848億円ある全国でも上位だと聞きます。有効に使ってほしいです。例えば、 (1) 梅田八丁目に予定している複合施設。自転車でよく通る道ですが小学校の子どもたちのこんなふうにしてほしい絵が掲示されています。 どうせ作るのなら、使う人が喜んで活用できる施設にしてください。楽しい図書館だけでなく（今迄西新井近辺にはなかった）「演奏・合唱ができる防音の施設。展示のできるギャラリー、スポーツ施設、カフェなど」駅近なので、施設の作り方によっては利用が増えると思います。将来的にもいかに活用してもらえるかが、施設づくりのポイント。家で閉じこもりがちな人にも来てもらえるように！若者も子連れのママさんたちも中堅もお年寄りも来なくなる施設にしてください。

No	いただいた意見
	(2) 大師前の新しい西新井住区センターについて 新しくできたことはうれしいのですが ・大会議室？で音量を下げてでも廊下・階段によく聞こえるので工夫が必要。 ・大会議室では合唱の練習や合唱の発表会ができるようにピアノを設置する。 ・小会議室では、小グループのバンド演奏ができるような設備をつくる。 ・展示ができる使い方もほしい。たくさんのパネルなどギャラリー風に。各住区センターでは作品の展示もしていますが、駅近でも再度やるとたくさんの方の目に触れるため発表者の励みになるし、見る側もうれしい。心が豊かになる。日数も数日間続けて借りられるように。 (3) 西新井駅前の開発を早く進めてほしい。どんな開発をしたらよいか区民の意見を聞いて、区民が喜ぶ環境・施設づくりを。商業施設だけでなく、区の素晴らしい公共施設・ゆったりできる公園も。人を大事に！を基本理念に。トイレもややおしゃれに。竹ノ塚のように高架になるといいなあ。 (4) 上沼田小跡地の公園 鉛筆門風を残したのはいいと思いますが、そのところどころに駆け出さないようになるか消しゴム風のコンクリート椅子？があります。角張っているので幼児には危ない気がします。消しゴムのように素材を工夫するといいです。隣のグラウンドの活用度が気になります。一般にも開放して自由に使える日か時間帯があるといいです。、中での活用は危なくないように工夫は必要。夏など早期貸出などはどうでしょうか。 (5) 高野小跡地のグラウンドは、いい施設になることを願っています。 よろしくお願いします。

別紙 3

足立区公共施設等総合管理計画【令和6年度改訂】素案に対する区民等の意見（全文）②

意見の提出に必要な要件を満たさず、パブリックコメントとして受理できなかった意見は、パブリックコメントとして別紙1に分類・要点整理、意見に対する区の考え方を記載せず、意見の全文のみ「受付順」に掲載します。

なお、個人を識別できたり、第三者の権利利益を損ねる恐れのある情報は、全部・一部を削除又は概要のみを記載しています。

No	いただいた意見
1	(1) 暮らしやすい、暮らしてよかったと感じる事業にしてください。 (2) 少子化・人口減少でできることとして、小中学校の一学級の人数を少なくし、つめ込み教室、所有文具の置き場所確保、活動に使えるゆとりをもたせてあげてください。放課後の行き場所の充実も居場所づくりとして考えてあげてください。ゲームに頼ることなく文化的・身体的活動のできる施設です。 (3) 成人としては学習センターが歩きや自転車で行ける範囲にあることです。 (4) 高齢者だけでなく、各階層が文化的に日常が豊かに過ごせるよう地域の意見をよく聞いて計画してください。 (5) ピアノ、歌、身体を動かせる設備が備わった空間も必要です。 (6) 演劇、オーケストラ演奏が可能な会場も一つで、できれば東西に一つずつあれば他区や他県に借りなくて済みます。 (7) 公園は絶対につぶさないで、さらに数を増やしてほしいです。一度失った緑は代償が大きいです。 (8) 公聴会を長くして会場も多くして区民の声を聞いてください。
2	竹の塚にある第五公園が区民の交流の場になっておりました。区民が外で安心して憩える場所をなくすことに反対いたします。お金を使わず、運動途中、買物途中高齢者の休憩場所としてなくてはならない場所を、増やすどころか減らすというのは、本当に区民の健康を考えているとは思えない政策です。